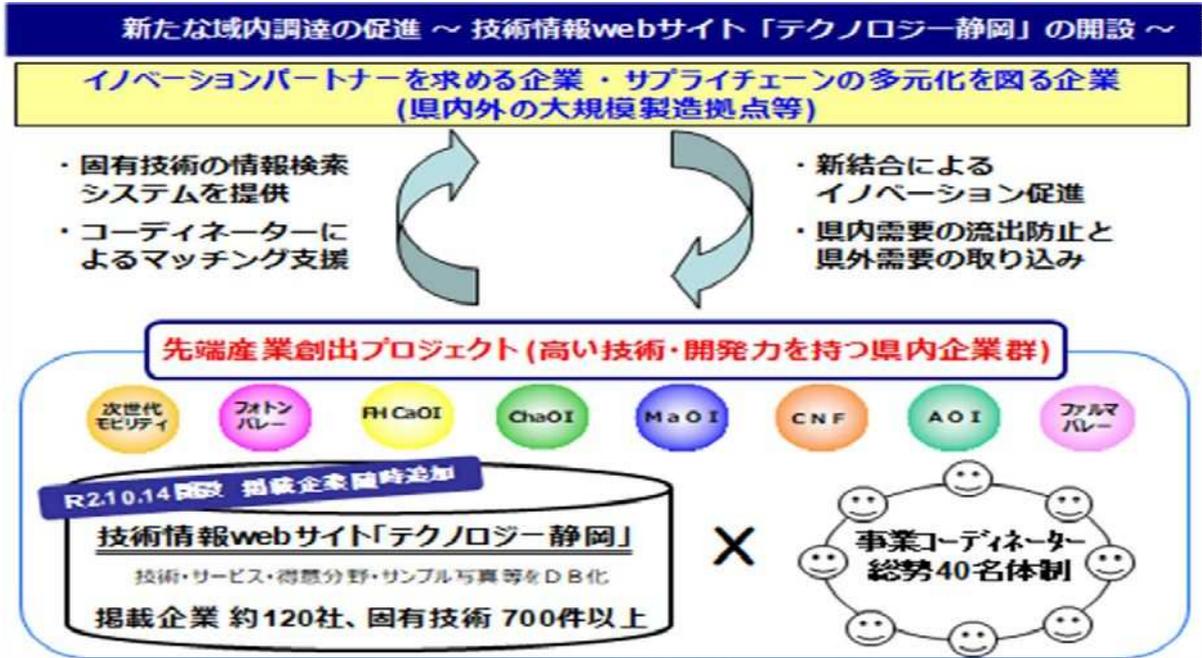


## 6 富をつくる産業の展開

| No.  | 施策名          | 担当部局名        |                      |
|--|--------------|--------------|----------------------|
| 51   | 「テクノロジー静岡」開設 | 経済産業部        |                      |
| <b>【現状】</b>  |              |              |                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内には先端ものづくり、医療健康等、県の先端産業創出プロジェクトに参画する、優れた技術を有する企業が多数存在している。</li> <li>・県内の大規模製造拠点等では、身近にある県内中小企業との商取引を拡大したいと考えているものの、県内中小企業がどのような技術を有しているのかが分からず、結果的に他県や海外の企業に発注している事例が発生している。</li> </ul>   |              |              |                      |
| <b>【課題・目的等】</b>  |              |              |                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな製品・技術の開発に取り組む企業や、サプライチェーンの多元化を目指す県内外の企業と、高い技術力を有する県内中小企業とのマッチングを支援する。</li> <li>・県の先端産業創出プロジェクトの強みを生かし、異なる分野との協業による新たな価値の創造を推進する。</li> </ul>   |              |              |                      |
| <b>【これまでの取組】</b>   |              |              |                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・先行して同様のサイトを展開している先進事例（東京都大田区）の視察や、県内大規模製造拠点の関係者等にも助言を頂きながら、令和2年10月に県内企業の技術情報Webサイト「テクノロジー静岡」を開設した。</li> <li>・県の先端産業創出プロジェクトの事業コーディネーターがサイト利用者からの問合せに対応し、サイト利用者のニーズから、最適な企業とのマッチングを支援。</li> <li>・令和3年7月末時点で、131社、800件以上の技術情報を掲載している。</li> </ul> |              |              |                      |
| <b>【今後の取組】</b>   |              |              |                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数の拡大に向け、掲載企業数の拡大と掲載情報の充実を図る。</li> <li>・県内外の大規模製造拠点への企業訪問によるPR、産業支援機関等によるメールマガジンの配信、金融機関担当者へのチラシ配布等による周知広報を行う。</li> <li>・実際の技術相談、商談へ発展させていくためには、顔の見える関係での口コミが重要であるため、大規模製造拠点をはじめ、産業支援機関や金融機関にも、関係先への周知について引き続き協力を依頼する。</li> </ul>            |              |              |                      |
| <b>【工程表】</b>   |              |              |                      |
| 2018   | 2019         | 2020         | 2021                 |
|  |              | 「テクノロジー静岡」構築 | 「テクノロジー静岡」運用<br>周知広報 |

【参考】

○「テクノロジー静岡」の概要



○「テクノロジー静岡」チラシ

静岡県内企業技術情報Webサイト  
URL: <https://technology-shizuoka.jp/>

# テクノロジー静岡

## Technology Shizuoka

探 技 静  
そ う 術 の

【お問合せ先】 電話 054-221-2578  
静岡県経済産業部産業政策課 メール sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 静岡県内企業の “技術”が詰まった Webサイト!

新たな開発に取り組む企業  
サプライチェーンの多元化を  
検討している企業



**技術力の高い  
静岡県内中小企業**  
マッチング支援

**point** 先端産業プロジェクトと連携

- ・ 先端ものづくり、医療健康、スマート農業など県の先端産業創出プロジェクト関連企業を多数掲載。
- ・ 静岡県内113社、700件以上の固有技術を掲載。(2021年1月末日現在 随時追加)
- ・ 総勢40名の事業コーディネーターが問合せに対応し、サイト利用者のニーズから最適な企業とのマッチングを支援。

**point** 技術による検索が可能

- ・ サイト利用者が実現したい機能(成形する、切る、削る等)による検索が可能。各企業が得意とする技術を画像付きで紹介。
- ・ プロジェクト相互の連携により、複数の分野にまたがるマッチング支援も可能に。

**point** 絞り込み検索が充実

- ・ 取扱可能な素材や取引先業界、国際規格等の認証規格等での絞り込み検索が可能。
- ・ 試作品の開発や量産対応の可否等、企業の受注スタンスも記載。
- ・ 技術の項目と掛け合わせて検索することで、サイト利用者のニーズに合う企業を探索。

**主な掲載内容**

- 得意とする技術
- 主要設備
- 主要取引業界
- 認証規格
- 主な特許情報
- 最近5年間の開発テーマ

トップページ | 検索ページ | 企業ページ

## 6 富をつくる産業の展開

| No.  | 施策名        | 担当部局名 |      |      |      |      |   |  |  |  |
|--|------------|-------|------|------|------|------|---|--|--|--|
| 52   | 新たな成長産業の育成 | 経済産業部 |      |      |      |      |   |  |  |  |
| <b>【現状】</b>  |            |       |      |      |      |      |   |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな成長分野（CNF※や新素材や次世代自動車、ロボット、航空宇宙、環境、新エネルギー、医療・福祉、光技術関連等）へ進出する、もしくは進出した地域企業の支援とともに、産業を牽引する課題解決型の研究開発を推進している。</li> </ul> <p>※ CNF：セルロースナノファイバーの略。鉄の5分の1の軽さで、その7～8倍の強度を有する最先端のバイオマス素材</p>   |            |       |      |      |      |      |   |  |  |  |
| <b>【課題・目的等】</b>  |            |       |      |      |      |      |   |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな成長分野において、IoT、AI等を活用することによる新たな製品の開発・事業化を推進していく必要がある。</li> </ul>   |            |       |      |      |      |      |   |  |  |  |
| <b>【これまでの取組】</b>   |            |       |      |      |      |      |   |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>IOTやAIは、今後、次世代自動車やロボット、医療福祉などの成長分野での活用が見込まれるが、これらの分野における企業の新製品開発・事業化の取組に対して、産学官連携研究開発助成、中小企業研究開発助成、事業化推進助成などの助成制度により支援をした。</li> </ul>   |            |       |      |      |      |      |   |  |  |  |
| <b>【今後の取組】</b>   |            |       |      |      |      |      |   |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな成長分野において、IoT、AI等を活用した新たな製品化・事業化を進めるため、中小企業の新規参入から製品開発・販路開拓までの一貫した支援を行う。</li> <li>経済の持続的な成長を実現するには構造改革は不可避であり、世界的に急速に進む自動車の電動化の動き等に的確に対応するとともに、企業がデジタル技術等を活用して新しいスタイルに対応していくことを支援していく。(Industry Innovation × DX) <ul style="list-style-type: none"> <li>✓次世代自動車の電動化・デジタル化等対応研究会の開催</li> <li>✓中小企業の技術開発・研究開発支援</li> <li>✓実証フィールドの形成（しずおか自動運転 ShowCASE プロジェクト）</li> </ul> </li> </ul> |            |       |      |      |      |      |   |  |  |  |
| <b>【工程表】</b>   |            |       |      |      |      |      |   |  |  |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">           技術相談、研究・試作品開発助成、事業化助成<br/>           コーディネータ配置、ビジネスマッチング等         </td> </tr> </tbody> </table>   |            |       | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 技術相談、研究・試作品開発助成、事業化助成<br>コーディネータ配置、ビジネスマッチング等 |  |  |  |
| 2018   | 2019       | 2020  | 2021 |      |      |      |   |  |  |  |
| 技術相談、研究・試作品開発助成、事業化助成<br>コーディネータ配置、ビジネスマッチング等  |            |       |      |      |      |      |   |  |  |  |

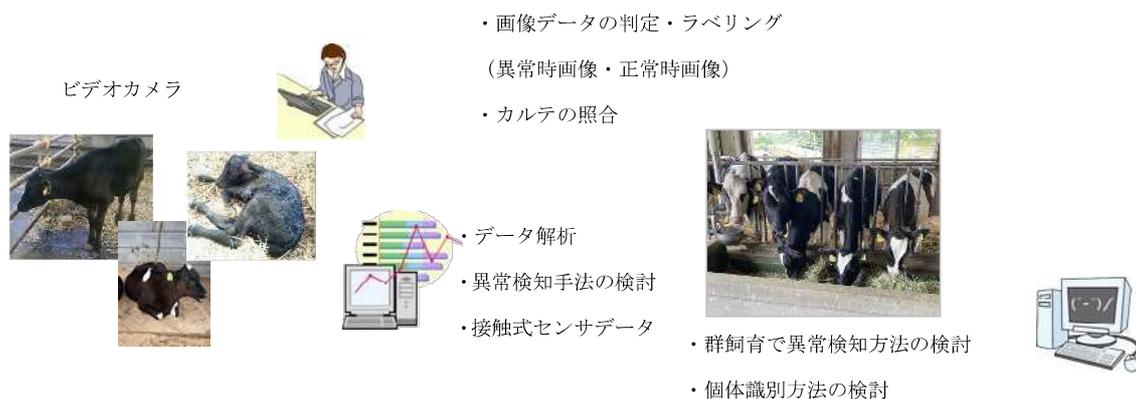
## 6 富をつくる産業の展開

| No.   | 施策名                              | 担当部局名 |      |      |      |      |                           |  |  |  |
|---|----------------------------------|-------|------|------|------|------|---------------------------|--|--|--|
| 53  | 県試験研究機関におけるI・O・T等を活用した生産性向上技術の開発 | 経済産業部 |      |      |      |      |                           |  |  |  |
| <b>【現状】</b>   |                                  |       |      |      |      |      |                           |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少・少子高齢化により人手不足が顕在化している中、I・O・T・A I などI C T の活用による生産性の向上が重要な課題となっている。</li> <li>・県試験研究機関では、産業の振興と地域企業の支援をするために、これまでに蓄積したコア技術を活かしつつ、革新的技術を取り入れた研究開発を推進している。</li> </ul>   |                                  |       |      |      |      |      |                           |  |  |  |
| <b>【課題・目的等】</b>   |                                  |       |      |      |      |      |                           |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・I・O・T・A I などI C T の活用による技術等を開発し、県内産業の生産性向上に貢献する。</li> </ul>   |                                  |       |      |      |      |      |                           |  |  |  |
| <b>【これまでの取組】</b>  |                                  |       |      |      |      |      |                           |  |  |  |
| <p>各研究所において、以下の技術開発研究などを実施している。</p> <p>&lt;農林技術研究所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ駆動型管理技術の開発（R1～R3）</li> <li>・規模拡大・高収益のためのイチゴ栽培技術の開発（H30～R2）</li> <li>・大規模トマト生産を支援する生態エンジニアリングによる農薬と生産ロス削減技術の開発（R1～R3）</li> <li>・茶新芽の生育ステージの客観的推定法の確立（H29～R1）</li> <li>・多様な需用に対応する県産材の供給情報システムの開発（H29～R1）</li> </ul> <p>&lt;畜産技術研究所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体圧センサーを活用したウシ分娩検知システムの開発（H30～R2）</li> </ul> <p>&lt;水産技術研究所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駿河湾漁海況情報ネットワークシステム構築（R1～R3）</li> <li>・F i s h T e c h によるサステイナブル漁業モデルの創出（R1～R3）</li> </ul> <p>&lt;工業技術研究所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I・O・T導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築（R1～R3）</li> </ul> |                                  |       |      |      |      |      |                           |  |  |  |
| <b>【今後の取組】</b>  |                                  |       |      |      |      |      |                           |  |  |  |
| <p>令和3年度から新たに、以下の技術開発研究などに取り組む。</p> <p>&lt;農林技術研究所&gt;・レタス生育予測の精度向上と産地適応技術の開発（R2～R4）</p> <p>&lt;畜産技術研究所・工業技術研究所&gt;深層学習を用いた牛群管理システムの開発</p>  |                                  |       |      |      |      |      |                           |  |  |  |
| <b>【工程表】</b>  |                                  |       |      |      |      |      |                           |  |  |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">I・O・T・A I等を活用した生産性向上技術の開発</td> </tr> </tbody> </table>  |                                  |       | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | I・O・T・A I等を活用した生産性向上技術の開発 |  |  |  |
| 2018  | 2019                             | 2020  | 2021 |      |      |      |                           |  |  |  |
| I・O・T・A I等を活用した生産性向上技術の開発   |                                  |       |      |      |      |      |                           |  |  |  |

## 【参考】

### 深層学習を用いた牛群管理システムの開発（R3開始課題）

子牛期の代表的な疾病である下痢、呼吸器疾患を対象として、深層学習を用いた映像解析等による異常検知方法を検討し、群飼育下における非拘束かつ簡便な異常検知システムの構築を目指す。



“子牛単体”での異常検知方法の検討 → “群飼育”での異常検知方法の検討 → システム構築

#### 背景

・近年の酪農業界では、経営の大規模化や労働力不足を背景に、乳牛管理の省力化・効率化が進み、センシング技術を活用した行動監視システムなどが開発されている。

#### 課題

・子牛期の管理は、牛の異常行動を検知する装置が未開発で、未だに目視に依存しており、異常発見の遅れがその後の生産性低下に起因することから、子牛の群管理システムの開発が期待されている。

#### 研究内容

- ①映像解析による子牛単体の異常検知手法の検討
- ②群飼育環境における子牛の異常検知方法の確立

## 6 富をつくる産業の展開

| No.   | 施策名             | 担当部局名   |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
|---|-----------------|---|------|------|------|------|------|--|--|--|--|--|--|---|--|
| 54  | 静岡新産業集積クラスターの推進 | 経済産業部   |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
| <b>【現状】</b>   |                 |   |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファルマバレー（医療・健康）、フーズ・ヘルスケア（食品等）、フォトンバレー（光・電子技術）の3つの産業集積プロジェクト「静岡新産業集積クラスター」を推進し、県内企業による新たな事業や製品の創出を促進するとともに、地域企業の人材育成を支援している。</li> </ul>  |                 |   |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
| <b>【課題・目的等】</b>   |                 |   |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・各プロジェクトにおいて、I o Tやビッグデータ等の活用による新たな製品やサービスを創出していく必要がある。</li> </ul>   |                 |   |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
| <b>【これまでの取組】</b>  |                 |   |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・中核支援機関であるフォトンバレーセンターにおいて、A I（人工知能）やI o Tの利活用に関するセミナーや展示会を地域で開催するなど、企業の新たな製品開発やサービスの創出に努めた。</li> <li>・令和2年度から、フーズ・サイエンス（食品等）にヘルスケアの展開を加えたフーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクトを開始した。</li> <li>✓ データを活用したプラットフォーム「データヘルス・リビングラボ（*）」を構築<br/> <small>* 県民参加型により、運動量、食事内容、体内水分量などの健康データを収集、蓄積し、データを解析して県民へフィードバックするとともに、企業の製品開発につなげる。</small></li> </ul>   |                 |   |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
| <b>【今後の取組】</b>  |                 |   |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・I o T、ビッグデータ等を活用した製品・サービスの開発・事業化に向け、各プロジェクトの中核支援機関を中心として、産学官金のネットワークにより、地域企業の研究開発から事業化、販路開拓までの切れ目ない支援を実施する。</li> <li>・経済の持続的な成長を実現するには構造改革は不可避であり、企業がデジタル技術等を活用して新しいスタイルに対応していくことを支援していく。（Industry Innovation×DX）</li> <li>✓ データ駆動型食品開発の推進</li> <li>✓ データヘルス・リビングラボによる実証実験等、データヘルスの推進</li> </ul>  |                 |   |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
| <b>【工程表】</b>  |                 |   |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     中核支援機関を中心に各プロジェクトを推進<br/>                     コーディネータによるビジネスマッチング、展示会出展支援等                 </div> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     データヘルス・リビングラボ                 </div> </td> </tr> </tbody> </table> |                 |   |      | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     中核支援機関を中心に各プロジェクトを推進<br/>                     コーディネータによるビジネスマッチング、展示会出展支援等                 </div> |  |  |  |  |  | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     データヘルス・リビングラボ                 </div> |  |
| 2018  | 2019            | 2020  | 2021 |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     中核支援機関を中心に各プロジェクトを推進<br/>                     コーディネータによるビジネスマッチング、展示会出展支援等                 </div>  |                 |   |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |
|   |                 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     データヘルス・リビングラボ                 </div> |      |      |      |      |      |  |  |  |  |  |  |   |  |

## 6 富をつくる産業の展開

| No.  | 施策名                           | 担当部局名 |                 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
|--|-------------------------------|-------|-----------------|------|------|------|--------------------------|--|--|--|--|-----------------------|--|-----------------|
| 55   | 中小企業の経営力向上（I o T等を活用した生産性の向上） | 経済産業部 |                 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
| <b>【現状】</b>  |                               |       |                 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスを契機として、製造業等におけるサプライチェーンの脆弱性が顕在化し、I o Tを活用した生産体制の可視化や高度化が課題となっている。</li> <li>・工業技術研究所に開設した「静岡県I o T推進ラボ」において、民間企業の協力を得て、最新のI o T機器を展示するとともに、企業人材育成のための実習を行っている。</li> <li>・また、産学官連携でI o Tの普及を図る「静岡県I o T活用研究会」では、I o T導入に向けたセミナーを開催するとともに、静岡大学、工業技術研究所と連携し、I o T機器の現場実装までを支援する「I o T大学連携講座」を実施している。</li> </ul> |                               |       |                 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
| <b>【課題・目的等】</b>  |                               |       |                 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「静岡県I o T推進ラボ」と「静岡県I o T活用研究会」が連携し、中小企業の導入段階に応じた支援を実施する。I o T導入を検討していない企業には、セミナーや導入事例の紹介、I o T導入の検討を始めた企業には、個別企業支援、I o T大学連携講座によりI o Tの現場実装を支援する。</li> <li>・「静岡県I o T推進ラボ」では、民間企業のI o Tモデル機器を展示・実演するとともに、機器を活用したセミナーや実習を開催し、中小企業を支援する。</li> </ul>  |                               |       |                 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
| <b>【これまでの取組】</b>   |                               |       |                 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「I o T大学連携講座」を実施し、県内中小企業10社が参加した。</li> <li>・令和2年11月に「静岡県I o T推進ラボ」の展示機器をリニューアルし、9社の協力により新たなI o T機器を展示した。</li> </ul>  |                               |       |                 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
| <b>【今後の取組】</b>   |                               |       |                 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松工業技術支援センター及び沼津工業技術支援センターに静岡県I o T推進ラボのブランチを整備する。</li> <li>・「I o T大学連携講座」を静岡に加え、浜松、沼津でも開催し、I o T人材の育成を強化する。</li> </ul>  |                               |       |                 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
| <b>【工程表】</b>   |                               |       |                 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">「静岡県I o T活用研究会」の運営、周知、広報</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">「静岡県I o T推進ラボ」機器展示、実習</td> <td>浜松、沼津<br/>ブランチ開設</td> </tr> </tbody> </table>  |                               |       | 2018            | 2019 | 2020 | 2021 | 「静岡県I o T活用研究会」の運営、周知、広報 |  |  |  |  | 「静岡県I o T推進ラボ」機器展示、実習 |  | 浜松、沼津<br>ブランチ開設 |
| 2018   | 2019                          | 2020  | 2021            |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
| 「静岡県I o T活用研究会」の運営、周知、広報   |                               |       |                 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |
|  | 「静岡県I o T推進ラボ」機器展示、実習         |       | 浜松、沼津<br>ブランチ開設 |      |      |      |                          |  |  |  |  |                       |  |                 |



## 6 富をつくる産業の展開

| No.   | 施策名                    | 担当部局名 |
|---|------------------------|-------|
| 56  | 先端技術を取り入れた農食健連携ビジネスの促進 | 経済産業部 |
| <b>【現状】</b>   |                        |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A I（人工知能）、A I（農業情報科学）、I o Tなど科学技術の急速な発展により、農業は生産性革命というべき大きな変革期を迎えている。</li> </ul>   |                        |       |
| <b>【課題・目的等】</b>   |                        |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この大変革に対応し、農・食・健を総合した科学技術・産業において、産学官金・農商工連携のオープンイノベーションにより、農業を軸とした関連産業のビジネス展開を促進する。</li> </ul>  |                        |       |
| <b>【これまでの取組】</b>  |                        |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先端的な科学技術や本県が誇るものづくり技術を農業分野に活用することで農業の飛躍的な生産性の向上と農業を軸とした食品、健康など関連産業におけるビジネス展開の促進を目指すA O I（アグリオープンイノベーション）プロジェクトを推進し、これまでの取組により、機能性の高い農産物や低コストで品質を高める栽培技術など、21件の研究開発が実用化に至っている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 血圧を下げる効果のあるG A B Aを豊富に含む生食用ケール「ソフトケールG A B A」（生鮮葉物野菜で全国初の機能性表示食品）</li> <li>○ 骨の健康に役立つβ-クリプトキサンチン、血圧を下げる効果のあるG A B Aの2つの機能性成分を豊富に含む「三ヶ日みかん」（生鮮果樹で全国初のダブル機能性表示食品）</li> <li>○ 高糖度トマトの安定生産が可能な給液制御システム「うるおい力持ち」など</li> </ul> </li> <li>・ 県を代表する農芸品の「いちご」及び「みかん」では、A I（農業情報科学：Agri-Infoscience）を活用した産地の栽培技術の「見える化」を進めるとともに、栽培講習会等において活用できる、A Iシステムを活用した技術指導マニュアルを作成した。また、農業高校において、「夏メロン」及び「ペチュニア」の基本的な栽培技術の「見える化」を図った。</li> <li>・ 農業ロボット研究会の開催、コーディネータの設置及び開発に対する助成等を通じて民間事業者による農業ロボットの開発を促進した。</li> </ul> |                        |       |
| <b>【今後の取組】</b>  |                        |       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A O I－P A R Cを拠点とした先端農業技術の研究開発や、民間事業者による研究成果を活用した実用化の支援を継続するとともに、農林事務所等と連携して新たな技術の生産現場への普及を促進する。また、先端農業技術を活用できる人材の育成にも取り組む。</li> <li>・ 開発したA Iシステムを新しい栽培技術指導ツールとして活用するとともに、県内産地への普及に取り組む。また、農業高校では他品目で他校に取組を展開する。</li> <li>・ 農業ロボット研究会の開催やコーディネータの設置等により、新規の開発案件に継続して取り組むとともに、新技術の現地実証等を通じて早期の事業化を図る。</li> </ul>   |                        |       |

【工程表】

| 2018                      | 2019 | 2020 | 2021 |
|---------------------------|------|------|------|
| 革新的栽培法のシーズ開発              |      |      |      |
| 栽培技術や育種技術の開発              |      |      |      |
| ビジネスマッチング、セミナー等開催         |      |      |      |
| A I（農業情報科学）学習支援システムの開発・普及 |      |      |      |
| 農業ロボットの開発と現地実証            |      |      |      |

【参考】 ※図表等

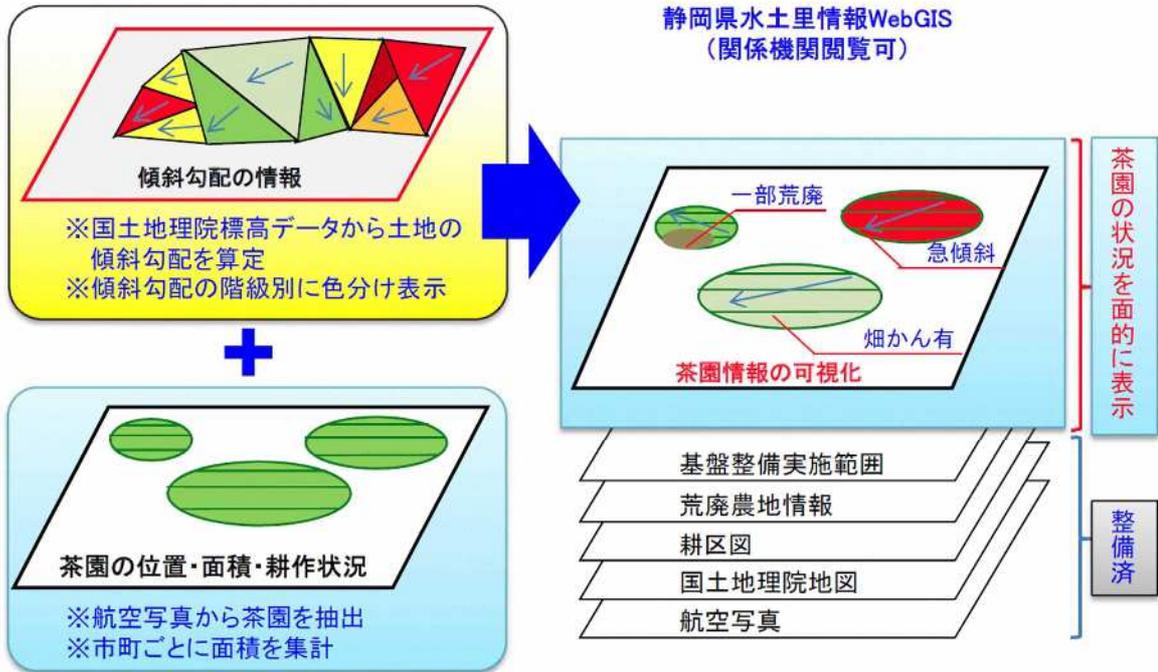


## 6 富をつくる産業の展開

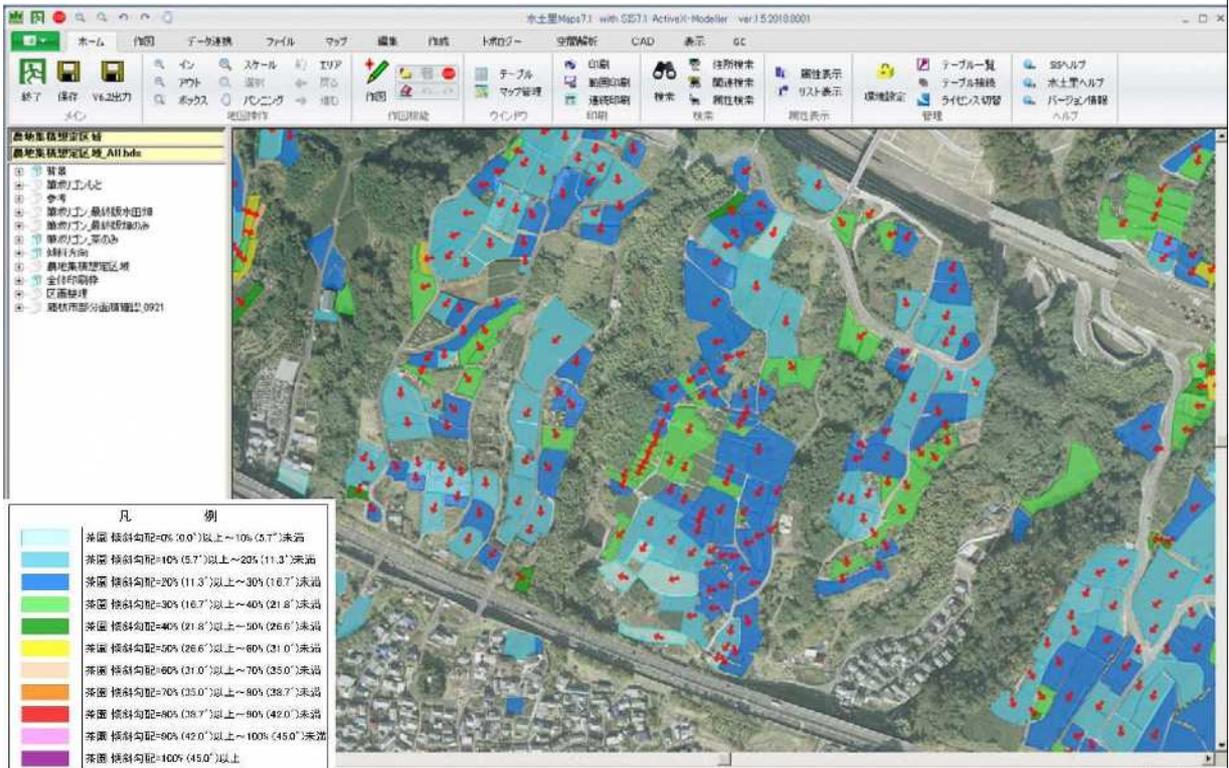
| No.  | 施 策 名                        | 担当部局名 |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
|--|------------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|----------|---|--|--|--|--------------------------|--|---|--|--|
| 57   | G I Sを活用した茶園の生産性向上を図る基盤整備の推進 | 経済産業部 |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
| <b>【現状】</b>  |                              |       |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の茶生産の現状として、傾斜地や小区画不整形な園地のほか、分散した経営園地が多く、農作業の省力化が必要不可欠となっている。</li> <li>・農業の競争力を強化するため、茶の生産においては、茶園管理の低コスト化を目指した乗用型茶園管理機等の大型機械の導入を可能とする基盤整備が必要となっている。</li> <li>・このような中、県では土地改良法の改正を受けて、農地中間管理事業との連携のもと、行政主導で基盤整備を進める取組を強化している。</li> </ul>  |                              |       |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
| <b>【課題・目的等】</b>  |                              |       |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の主要な茶産地の茶園面積や傾斜勾配等をG I Sにより分析することにより、基盤整備による生産性の向上や集積・集約化等の事業効果の高い区域を選定し、茶園の区画整理の事業化を推進する。</li> </ul>  |                              |       |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
| <b>【これまでの取組】</b>   |                              |       |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶園の位置、傾斜勾配、傾斜方向をG I Sで整理し、基盤整備情報や航空写真等を重ね合わせて情報を可視化した。</li> <li>・これらの取組により茶園（耕区）の標高や傾斜勾配、傾斜方向等の情報を早期に把握可能。</li> <li>・地権者の営農意向や担い手の耕作茶園、茶工場との位置関係等を踏まえて、基盤整備により生産性の向上や集積・集約化が見込まれる地域を選定し、事業化に向けた計画・調整に活用した。</li> <li>・この取組により、令和3年度までに13地区141haにて事業着工した。</li> </ul>   |                              |       |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
| <b>【今後の取組】</b>   |                              |       |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、基盤整備の事業化に向けた事業計画や地元調整に本データを活用し、茶園の生産性向上を図っていく。</li> </ul>  |                              |       |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
| <b>【工程表】</b>   |                              |       |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茶園情報の可視化</td> <td style="text-align: center;">▶</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>茶園基盤整備に向けた事業計画立案や地元調整に活用</td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">▶</td> </tr> </tbody> </table> |                              |       |      |      | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 茶園情報の可視化 | ▶ |  |  |  | 茶園基盤整備に向けた事業計画立案や地元調整に活用 |  | ▶ |  |  |
|  | 2018                         | 2019  | 2020 | 2021 |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
| 茶園情報の可視化   | ▶                            |       |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |
| 茶園基盤整備に向けた事業計画立案や地元調整に活用   |                              | ▶     |      |      |      |      |      |      |          |   |  |  |  |                          |  |   |  |  |

【参考】

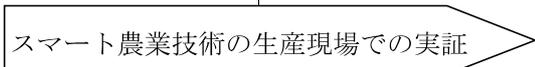
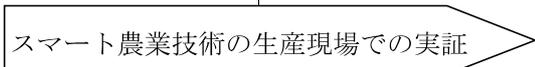
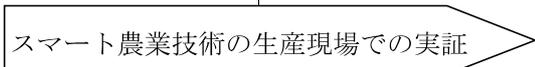
＜掲載情報等のイメージ＞



＜GIS＞

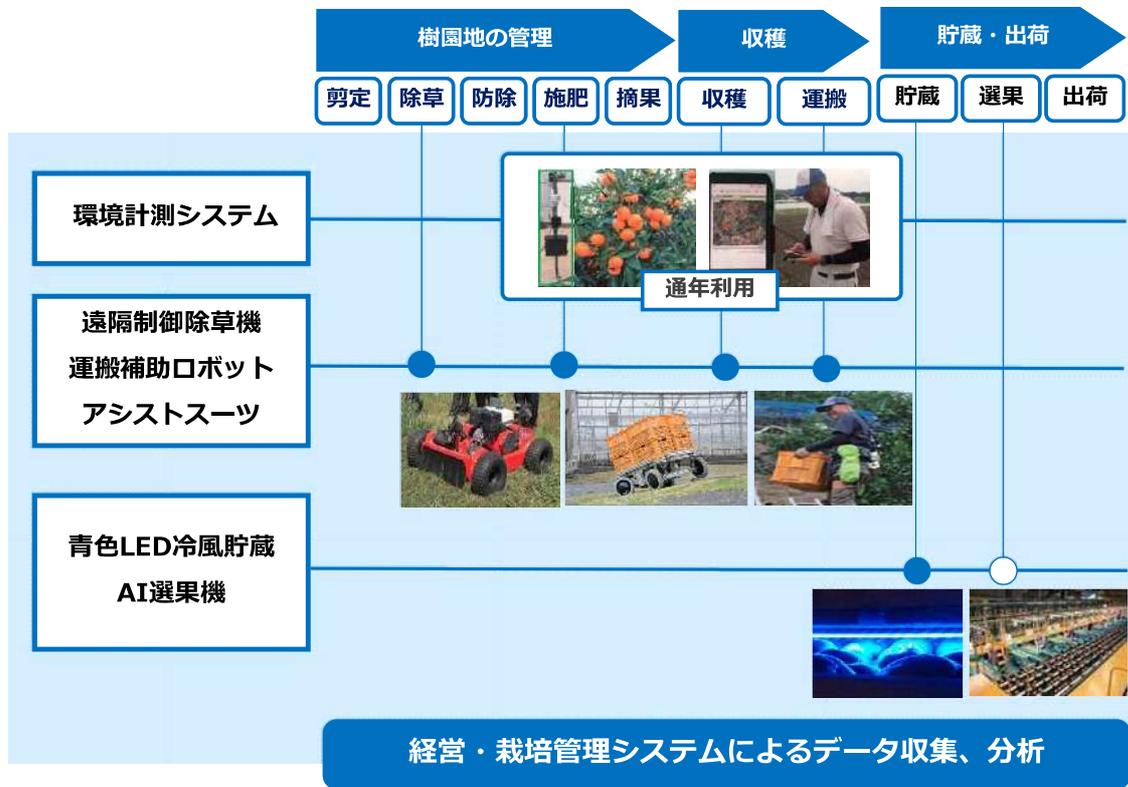


## 6 富をつくる産業の展開

| No.   | 施策名                  | 担当部局名  |      |      |      |      |  |  |  |  |
|---|----------------------|--|------|------|------|------|--|--|--|--|
| 58  | 温州みかん産地におけるスマート農業の実証 | 経済産業部  |      |      |      |      |  |  |  |  |
| <b>【現状】</b>   |                      |  |      |      |      |      |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松市北西部の中山間地域にある北区三ヶ日町は、ミカンの専作地域であり、「三ヶ日みかん」のブランド産地として知られている。</li> <li>・近年、担い手の減少や高齢化による労働力不足をはじめ、自然災害のリスクの増加など生産が不安定になっている。</li> </ul>  |                      |  |      |      |      |      |  |  |  |  |
| <b>【課題・目的等】</b>   |                      |  |      |      |      |      |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAみっかびでは、令和3年度に選果労力軽減と選果精度を高めるAI選果機を備えた集出荷施設の整備を予定している。このAI選果機による選果作業の省力化と合わせて、中山間地域のミカン経営において課題となる安定生産、傾斜地での管理作業の軽労化、貯蔵中の腐敗果の削減等をスマート農業技術の導入で解決に取り組む。</li> </ul>   |                      |  |      |      |      |      |  |  |  |  |
| <b>【これまでの取組】</b>  |                      |  |      |      |      |      |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県が代表機関となり、生産者、JAみっかび、メーカー等と連携して国のスマート農業技術の開発・実証プロジェクトに実証内容を提案し、令和元年3月に採択された（実施期間 R2、R3年度）。</li> <li>・JAみっかび管内の3人の生産者が、運搬補助ロボットと遠隔制御除草機導入による作業の軽労化や貯蔵庫内の青色LED設置による腐敗防止などスマート農業技術の導入によるミカン経営の改善効果の実証に取り組んだ。</li> </ul>  |                      |  |      |      |      |      |  |  |  |  |
| <b>【今後の取組】</b>  |                      |  |      |      |      |      |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度は、前年度の技術の改善と環境計測データに基づく栽培管理やAI選果機活用による家庭選果の省力化の実証に取り組み、経営改善効果を評価する。</li> </ul>   |                      |  |      |      |      |      |  |  |  |  |
| <b>【工程表】</b>  |                      |  |      |      |      |      |  |  |  |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </tbody> </table> |                      |  | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 |  |  |  |  |
| 2018  | 2019                 | 2020   | 2021 |      |      |      |  |  |  |  |
|   |                      |  |      |      |      |      |  |  |  |  |

【参考】

ミカン経営に導入するスマート技術



## 6 富をつくる産業の展開

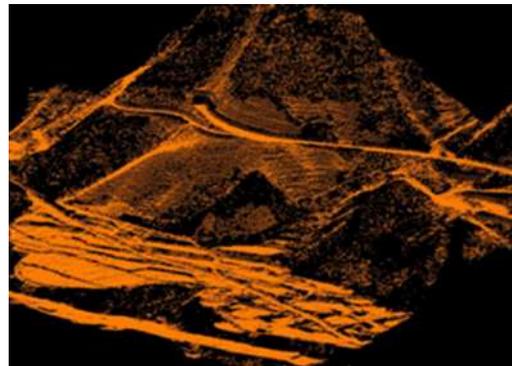
| No.   | 施策名                | 担当部局名    |                      |                      |
|---|--------------------|----------|----------------------|----------------------|
| 59  | デジタル技術を活用した地籍調査の推進 | 経済産業部    |                      |                      |
| <b>【現状】</b>   |                    |          |                      |                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の地籍調査の進捗率は、本県 25%で全国 52%に対して低い状況となっている。特に、林地の進捗率が 11%で全国 46%を大きく下回る。</li> <li>・津波浸水想定区域の地籍調査の進捗率は、84%と高いものの、被災時の甚大な経済的損失を懸念し、経済団体等から早期実施の強い要望が出されている。</li> <li>・「県第7次国土調査事業十箇年計画」では、津波浸水想定区域の地籍調査を10年で完了することを推進方向とし、デジタル技術の活用による調査の効率化に取り組んでいくこととしている。</li> </ul> |                    |          |                      |                      |
| <b>【課題・目的等】</b>   |                    |          |                      |                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・山村部においては、土地所有者の高齢化、不在地主の増加、森林の管理不足等により、現地立会いによる一筆地調査や測量が困難になってきており、リモートセンシングデータを活用して、調査の迅速かつ効率的な実施を図る必要がある。</li> <li>・津波浸水想定区域においては、地籍調査が完了するまでの期間において、万が一被災した場合の社会経済や住民生活への影響を最小化するため、土地情報の整備が早急に必要である。</li> </ul>   |                    |          |                      |                      |
| <b>【これまでの取組】</b>  |                    |          |                      |                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度、河津町において、交通基盤部が取得した3次元点群データを活用して、「山村部リモートセンシングモデル調査」を実施した。また、モデル調査により省力化効果が確認できたことから、令和2年度に伊豆市及び河津町で新たな調査手法を導入し、調査を実施している。</li> <li>・令和2年度、下田市において、デジタルオルソ画像を活用して、津波浸水想定区域現況境界座標データ化のモデル調査を実施した。</li> </ul>  |                    |          |                      |                      |
| <b>【今後の取組】</b>  |                    |          |                      |                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・山村部の地籍調査において、リモートセンシング技術を活用した地籍調査を今後も引き続き進めていく。</li> <li>・津波浸水想定区域の地籍調査未実施区域においては、令和3年度に、GISによる現況境界座標データ化調査を実施する。</li> </ul>  |                    |          |                      |                      |
| <b>【工程表】</b>  |                    |          |                      |                      |
|   | 2018               | 2019     | 2020                 | 2021                 |
|   |                    | 山村部モデル調査 | 伊豆市・河津町で山村部リモセン調査を実施 | ※2022以降 山村部リモセン調査を拡大 |
|   |                    |          | 現況境界モデル調査            | 現況境界調査を実施            |

【参考】

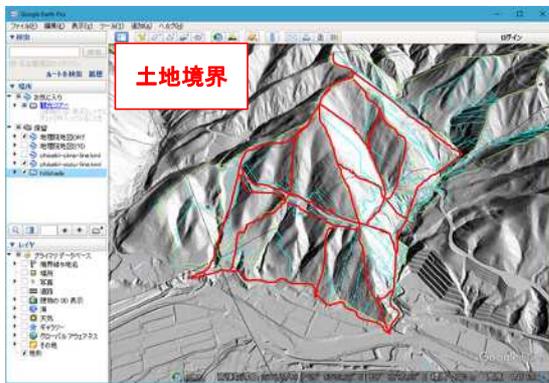
＜山村部リモセン調査イメージ＞



(リモセンデータ取得)



(微地形図等作成)



(筆界案作成)



(集会所等で確認)

＜津波浸水想定区域現況境界座標データ化モデル調査成果イメージ＞



## 6 富をつくる産業の展開

| No.   | 施策名                          | 担当部局名    |                        |      |
|---|------------------------------|----------|------------------------|------|
| 60  | GISを活用した水田での野菜生産拡大を図る基盤整備の推進 | 経済産業部    |                        |      |
| <b>【現状】</b>   |                              |          |                        |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、国産野菜需要の高まりを受け、露地野菜等の高収益作物の生産拡大を図ることが重要となっている。</li> <li>・本県の農地状況として、生産性が高く一定の団地化された畑地は、既に利用されている農地が殆どで、新たに生産拡大できる畑地が少ない状況にある。</li> <li>・水田において野菜等を栽培するためには、ほ場の排水性や土質状況等を把握し、栽培可能な農地を選定していく必要がある。</li> </ul>                               |                              |          |                        |      |
| <b>【課題・目的等】</b>   |                              |          |                        |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の一大水田地帯である中遠・志太榛原地域を対象に、水田の排水性や土質状況、営農状況等をGISにより把握し、暗渠排水等の必要な整備により迅速に露地野菜等の高収益作物を生産拡大することが必要である。</li> <li>・このため、ほ場情報を可視化することにより、基盤整備により生産拡大を図る事業効果の高い区域を選定する。</li> </ul>  |                              |          |                        |      |
| <b>【これまでの取組】</b>  |                              |          |                        |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほ場の区画形状や団地化状況、ほ場や末端河川の排水能力等をGISで整理し、航空写真等を重ね合わせて情報を可視化した。</li> <li>・これらの取組により、暗渠排水整備済みで直ぐに裏作等の野菜栽培が可能な区域や暗渠排水の整備により迅速に野菜栽培が可能な区域等の情報を早期に把握可能となった。</li> <li>・基盤整備により生産拡大を図る事業計画地区が、令和3年度までに22地区560haにて事業着工し、野菜等の高収益作物導入が加速化されている。</li> </ul> |                              |          |                        |      |
| <b>【今後の取組】</b>  |                              |          |                        |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、基盤整備の事業化に向けた事業計画や地元調整に本データを活用し、高収益作物等の生産拡大を図っていく。</li> </ul>  |                              |          |                        |      |
| <b>【工程表】</b>  |                              |          |                        |      |
|   | 2018                         | 2019     | 2020                   | 2021 |
|   |                              | 水田情報の可視化 |                        |      |
|   |                              |          | 基盤整備に向けた事業計画立案や地元調整に活用 |      |

【参考】

<高収益作物等生産拡大基盤整備プロジェクト>

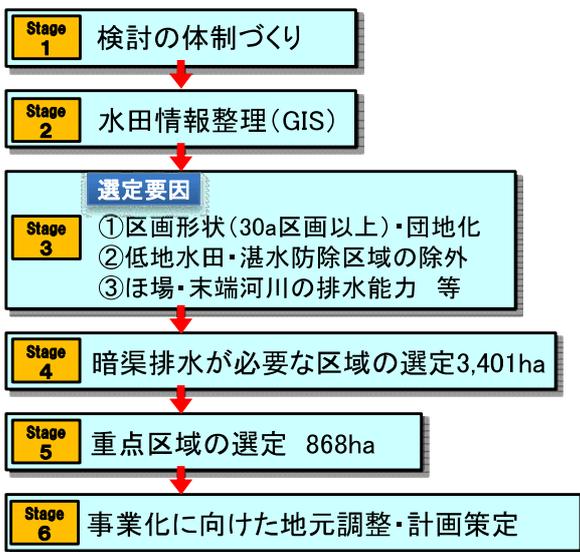
○実施方針

【対象】 中遠・志太榛原地域の 11 市町 12, 394ha

【推進手法等】

- ・ 市町、J A 等の関係機関と情報・課題等を共有する P T 設置
- ・ 水田汎用化のための基盤整備（暗渠排水）を早期事業化する区域を選定

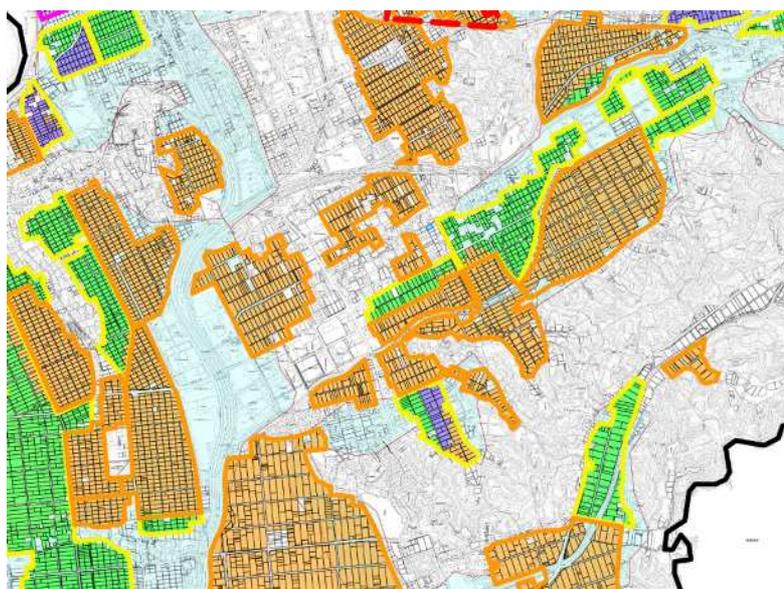
【事業化するまでの流れ】



【暗渠排水の効果】



<GIS>



## 6 富をつくる産業の展開

| No.  | 施策名                           | 担当部局名    |                        |      |      |      |      |  |  |          |                        |
|--|-------------------------------|----------|------------------------|------|------|------|------|--|--|----------|------------------------|
| 61   | G I Sを活用した柑橘園の生産性向上を図る基盤整備の推進 | 経済産業部    |                        |      |      |      |      |  |  |          |                        |
| <b>【現状】</b>  |                               |          |                        |      |      |      |      |  |  |          |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・柑橘を生産する農家の減少や高齢化、労働力不足等により、生産体制の脆弱化が進んでいる。</li> <li>・柑橘栽培においては、収穫や摘果など機械化が困難な作業が多く、主にスピードスプレーヤによる薬剤散布や収穫物・資材の運搬等の省力化、労働条件の改善を図ることが重要となっている。</li> <li>・また、生産する農地は、傾斜地が多く小区画不整形で複雑な地形形状をした園地が多い。</li> </ul>  |                               |          |                        |      |      |      |      |  |  |          |                        |
| <b>【課題・目的等】</b>  |                               |          |                        |      |      |      |      |  |  |          |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業技術の活用や省力型の生産ほ場の整備を早急に拡大し、労働生産性を向上していく必要がある。</li> <li>・農薬散布の省力化を図るスピードスプレーヤの導入を促進するため、園内作業道や接続道路の整備の推進、地形条件等に合わせた小規模基盤整備を行う必要がある。</li> <li>・このため、県では、県内柑橘生産の先進地である三ヶ日地区をモデルとして、県や市、J A、関係団体と連携し、機械化が遅れている園地を対象に基盤整備による効果が高い区域を選定し、計画的に事業化を進めていくことが必要である。</li> </ul> |                               |          |                        |      |      |      |      |  |  |          |                        |
| <b>【これまでの取組】</b>   |                               |          |                        |      |      |      |      |  |  |          |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産現場の現状を把握するため、地理情報システム GIS を活用し、地形図（航空写真）上において、園地の傾斜度や区画規模等の計測、スピードスプレーヤの導入状況等、また、J Aの営農情報から各ほ場の樹齢や品種等を分析し、「園内道整備によりスピードスプレーヤの導入が可能となる区域」の選定や、傾斜が急で機械化が困難な園地について「区画整理により機械化が可能となる区域」を選定した。</li> <li>・この取組により、基盤整備により生産性向上を図る事業計画地区が、令和3年度までに2地区22haにて事業着工した。</li> </ul> |                               |          |                        |      |      |      |      |  |  |          |                        |
| <b>【今後の取組】</b>   |                               |          |                        |      |      |      |      |  |  |          |                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、基盤整備の事業化に向けた事業計画や地元調整に本データを活用し、柑橘産地の生産強化を図っていく。</li> </ul>   |                               |          |                        |      |      |      |      |  |  |          |                        |
| <b>【工程表】</b>   |                               |          |                        |      |      |      |      |  |  |          |                        |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>園地情報の可視化</td> <td>基盤整備に向けた事業計画立案や地元調整に活用</td> </tr> </tbody> </table>  |                               |          |                        | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 |  |  | 園地情報の可視化 | 基盤整備に向けた事業計画立案や地元調整に活用 |
| 2018   | 2019                          | 2020     | 2021                   |      |      |      |      |  |  |          |                        |
|  |                               | 園地情報の可視化 | 基盤整備に向けた事業計画立案や地元調整に活用 |      |      |      |      |  |  |          |                        |

【参考】

<柑橘産地生産強化基盤整備プロジェクト>

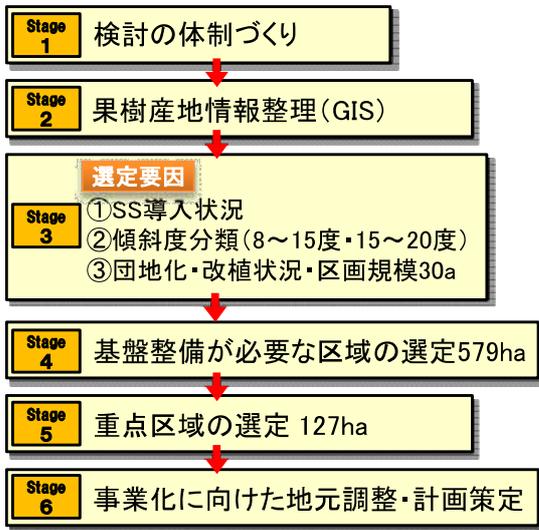
○実施方針

【対象】三ヶ日地域 2, 148ha

【推進手法等】

- ・市、JA等の関係機関と情報・課題等を共有するPT設置
- ・柑橘園地の生産性向上のための基盤整備を早期事業化する区域を選定

【事業化するまでの流れ】



【基盤整備事業内容】

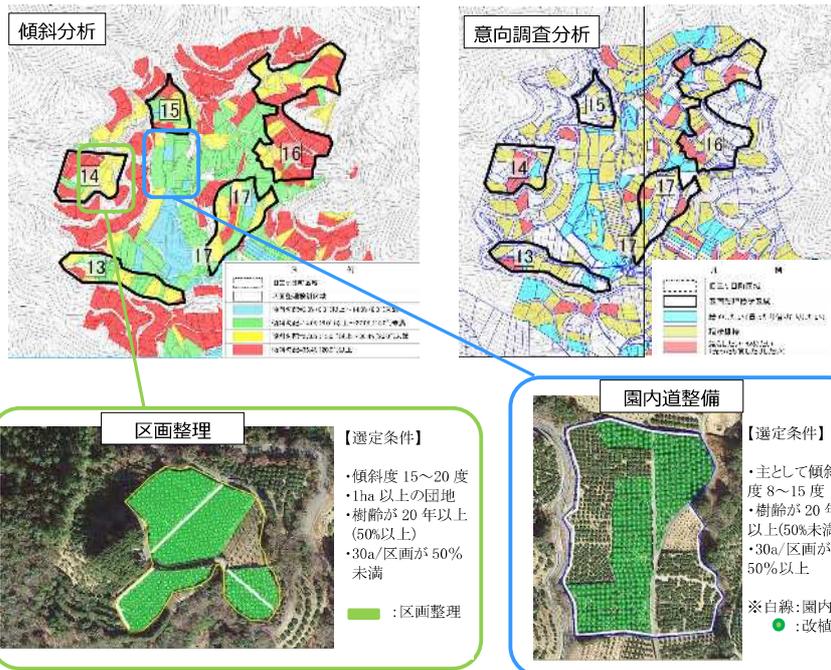
- SS(スピードスプレイヤ)導入  
やみかん搬出に必要な農道・園内道路の整備



● 傾斜の緩和を図る小規模区画整理



<GIS>



## 6 富をつくる産業の展開

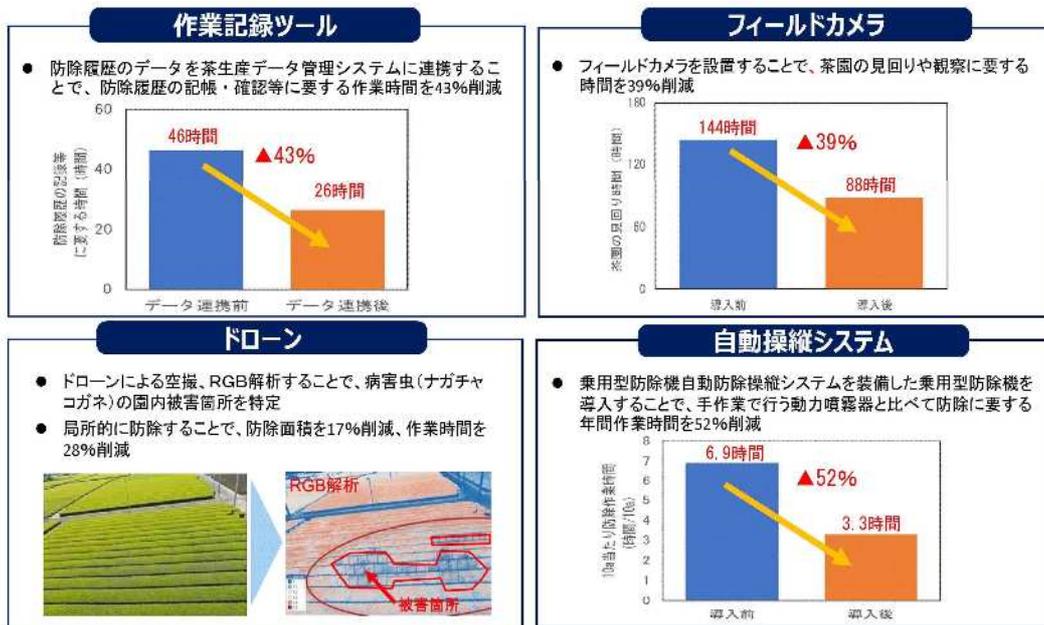
| No.  | 施策名               | 担当部局名 |                   |
|--|-------------------|-------|-------------------|
| 62   | 茶業におけるスマート農業の実証   | 経済産業部 |                   |
| <b>【現状】</b>  |                   |       |                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の担い手の減少や高齢化による労働力不足等へ対応するため、ICT、AI、ロボット等の先端技術を活用し、超省力・高品質生産を実現する「スマート農業」の社会実装を推進し、生産性向上や労働力不足の解消を図ることが急務である。</li> </ul>  |                   |       |                   |
| <b>【課題・目的等】</b>  |                   |       |                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者や民間事業者と連携して、茶におけるスマート農業技術の導入による経営改善効果の実証と現地普及を進める。</li> </ul>   |                   |       |                   |
| <b>【これまでの取組】</b>   |                   |       |                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県が代表機関となり、茶生産者、JA、農機メーカー等と連携して国のスマート農業技術の開発・実証プロジェクトに採択され（実施期間 R1、R2年度）、スマート農業技術の導入による茶の経営の改善効果の実証に取り組んだ。</li> <li>・牧之原市、島田市の3茶工場（計127ha）で、リモートセンシングによる、分散する茶園の管理作業の効率化・軽労化や、茶の新芽のAI解析による品質の均一化などを実施した。</li> <li>・実証で得られた成果から、スマート農業技術を最大限活用し、慣行に比べて10a作業時間を約20%削減することで、経営規模を約10%拡大し、総販売額を約10%増加することが見込まれる。</li> </ul> |                   |       |                   |
| <b>【今後の取組】</b>   |                   |       |                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度は、実証で得られた導入効果や導入コストの成果を基に、各茶業者等に合った導入を推進することで、スマート農業技術の社会実装を図る。</li> </ul>  |                   |       |                   |
| <b>【工程表】</b>   |                   |       |                   |
| 2018   | 2019              | 2020  | 2021              |
|  | スマート農業技術の生産現場での実証 |       |                   |
|  |                   |       | スマート農業<br>技術の社会実装 |

【参考】

[導入したスマート農業技術]



[主な導入効果]

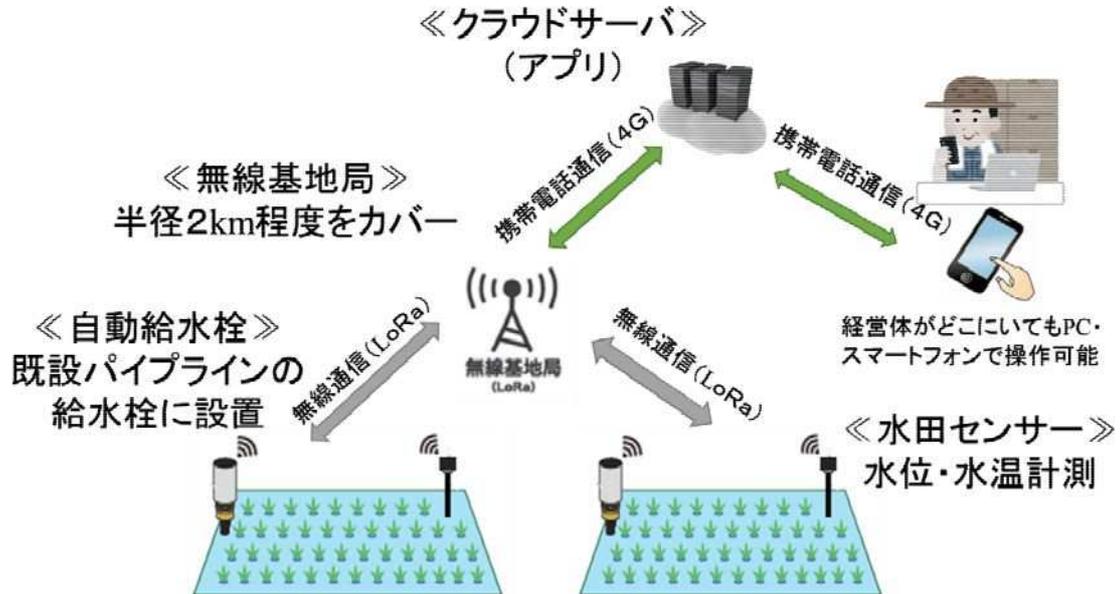


## 6 富をつくる産業の展開

| No.  | 施策名                        | 担当部局名              |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
|--|----------------------------|--------------------|------|------|------|------|-----------------------|--|------|--|--|--|--------------------|--|--|--|-------------|--|
| 63   | ICT水田水管理システムの普及拡大による営農の効率化 | 経済産業部              |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
| <b>【現状】</b>  |                            |                    |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・水稲栽培における水管理作業は、未だ手作業によるところが多く、水稲の営農全体の作業時間に占める割合は増している。</li> <li>・また、水稲経営における作付品種の多様化が進み、水管理の複雑化に加え、頻発する渇水や経営体の多様化による粗放的な水使用により、水不足が慢性化している。</li> </ul>  |                            |                    |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
| <b>【課題・目的等】</b>  |                            |                    |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の更なる大規模化を図るためには、水管理の省力化が必要であるとともに、水管理システムによる効率的かつ適時適切な水管理への期待が高まっている。</li> <li>・これら課題に対応するため、民間企業等とコンソーシアムを結成し、平成29年度から3年間、ICTを活用した水田の水管理システムの開発に取り組んだ結果、水稲経営の水管理労力の軽減に効果があることを実証した。</li> <li>・今後、これらの効果をPRして、県内への普及拡大を推進する。</li> </ul>   |                            |                    |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
| <b>【これまでの取組】</b>   |                            |                    |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・水位と水温の遠隔監視ができる水田センサー、開閉の遠隔操作と一定水位による自動管理ができる自動給水栓、LPWA通信を行う基地局、操作アプリから構成される水管理システムを開発し、磐田市、袋井市の約75haのほ場で2年間実証研究した。システムの導入により、水管理時間を約7割削減することが可能となった。</li> <li>・従来の機器（給水栓、センサー）のコストを約5割削減することが可能となった。</li> <li>・経営体からは、水田の給水側に加え、排水側の水管理省力化を求める意見があるため、実証研究の成果を生かしつつ、水田の排水管理作業の遠隔化の実証に着手した。</li> </ul>                |                            |                    |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
| <b>【今後の取組】</b>   |                            |                    |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム導入前に操作性等の体感を要望する経営体に対して、機器の試用「トライアル・リース」制度を創設する。</li> <li>・GISを活用して、経営体毎に省力化等の導入効果を「見える化」し、導入の事業化を支援する。</li> <li>・排水管理の遠隔制御による省力化や水田貯留効果等を継続して検証する。</li> </ul>   |                            |                    |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
| <b>【工程表】</b>   |                            |                    |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">水管理システムの実証研究（コンソーシアム）</td> <td colspan="2">普及拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">トライアルリース<br/>効果の可視化</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">水田の排水作業の遠隔化</td> </tr> </tbody> </table> |                            |                    | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 水管理システムの実証研究（コンソーシアム） |  | 普及拡大 |  |  |  | トライアルリース<br>効果の可視化 |  |  |  | 水田の排水作業の遠隔化 |  |
| 2018   | 2019                       | 2020               | 2021 |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
| 水管理システムの実証研究（コンソーシアム）  |                            | 普及拡大               |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
|  |                            | トライアルリース<br>効果の可視化 |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |
|  |                            | 水田の排水作業の遠隔化        |      |      |      |      |                       |  |      |  |  |  |                    |  |  |  |             |  |

【参考】

＜開発した水管理システムの全体イメージ＞



＜水管理システムの活用イメージ＞

| 現状の水管理作業              | 開発機器          |
|-----------------------|---------------|
| <p>田んぼの水位・水温を見まわり</p> | <p>水田センサー</p> |
| <p>給水栓の開閉を行う</p>      | <p>自動給水栓</p>  |

**【水田センサー】**  
⇒水位、水温を遠隔監視

**【自動給水栓】**  
⇒開閉を遠隔操作  
一定水位で自動管理

**【特徴】**  
○機能を限定  
○部品数を減少  
○乾電池で駆動  
⇒低価格化

これまでの機器の  
**半額**程度

## 6 富をつくる産業の展開

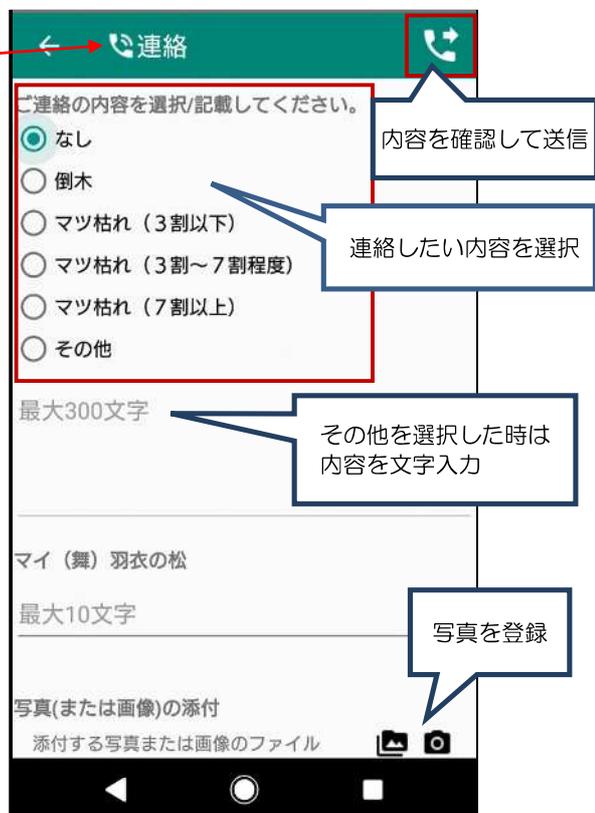
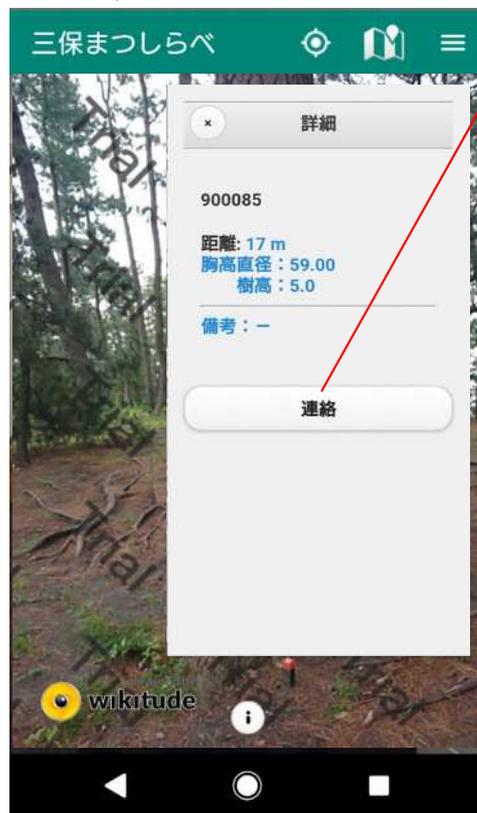
| No.  | 施策名  | 担当部局名 |      |      |      |      |                 |  |  |  |
|--|--|-------|------|------|------|------|-----------------|--|--|--|
| 64   | 三保松原松林管理システムの開発                                  | 経済産業部 |      |      |      |      |                 |  |  |  |
| <b>【現状】</b>  |  |       |      |      |      |      |                 |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>世界文化遺産「富士山」の構成資産である三保松原の持続的な松林保全のため、県と静岡市は「三保松原保全実行員会」を設置し、県は市に対して松林保全の技術的支援を行ってきた。</li> <li>樹勢の衰えたマツには土壌改良による樹勢回復を進めるとともに、マツ材線虫病防除のためのドローンを活用した薬剤散布により被害は微害化し、平成29年度以降、目標である被害率1本/ha以下を7年前倒しで達成している。</li> </ul>                      |  |       |      |      |      |      |                 |  |  |  |
| <b>【課題・目的等】</b>  |  |       |      |      |      |      |                 |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>今後は、薬剤に頼らない自然に優しい手法による持続的な松林の保全・管理を進めるため、地域住民、保全活動団体等と県、市が水平的に連携しながら対応する必要がある。</li> </ul>   |  |       |      |      |      |      |                 |  |  |  |
| <b>【これまでの取組】</b>   |  |       |      |      |      |      |                 |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>県では、マツ1本1本の個体情報をデータベース化し、スマートフォン等で地図上に表示することができる「三保松原松林管理システム『三保まつしらべ』」を開発した。</li> <li>地域住民や保全活動団体等に対し、AR機能を用いたアプリを通してマツの個体情報を提供し、マツ枯れ、枝折れ、倒木等の異常があった際に、個体と位置を特定・通報できる環境を整えた。</li> <li>上記アプリについて、地域住民や大学生に講習会等でPRし、普及を図った。</li> </ul> |  |       |      |      |      |      |                 |  |  |  |
| <b>【今後の取組】</b>   |  |       |      |      |      |      |                 |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>地元企業3社、静岡市、県が出資して立ち上げた「一般財団法人 三保松原保全研究所（令和元年6月設立）」を中心に本システムを活用し、地域住民、保全活動団体等、研究所、静岡市、県が連携し、松林保全を更に推進するとともに、三保松原を次世代に継承していく。</li> </ul>  |  |       |      |      |      |      |                 |  |  |  |
| <b>【工程表】</b>   |  |       |      |      |      |      |                 |  |  |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三保松原松林管理システムの開発</td> <td colspan="3">（一財）三保松原保全研究所を中心にした地域住民、保全活動団体、静岡市、県の水平連携による松林保全</td> </tr> </tbody> </table>                                   |  |       | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 三保松原松林管理システムの開発 | （一財）三保松原保全研究所を中心にした地域住民、保全活動団体、静岡市、県の水平連携による松林保全 |  |  |
| 2018   | 2019   | 2020  | 2021 |      |      |      |                 |  |  |  |
| 三保松原松林管理システムの開発  | （一財）三保松原保全研究所を中心にした地域住民、保全活動団体、静岡市、県の水平連携による松林保全 |       |      |      |      |      |                 |  |  |  |

【参考】

メイン画面



地図画面



## 6 富をつくる産業の展開

| No.   | 施策名                    | 担当部局名 |  |      |      |      |  |  |  |  |
|---|------------------------|-------|--|------|------|------|--|--|--|--|
| 65  | ふじのくに林業イノベーションフォーラムの創設 | 経済産業部 |  |      |      |      |  |  |  |  |
| <b>【現状】</b>   |                        |       |  |      |      |      |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な産業分野で先端技術によるイノベーションが進む中、林業においてもICTやAI、ドローン等の先端技術を活用した技術開発が進められている。</li> <li>・県は、収益性や労働安全の向上により林業を魅力ある産業とするため、令和2年度から航空レーザ計測やICT、ドローン等の先端技術を活用し生産性向上等を図る「林業イノベーション」の推進に取り組んでいる。</li> </ul>  |                        |       |  |      |      |      |  |  |  |  |
| <b>【課題・目的等】</b>   |                        |       |  |      |      |      |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの先端技術が開発されているものの、認知度の低さや技術に対する理解不足から現場への導入が進んでいない。</li> <li>・先端技術企業等も現場の課題の認知が十分でないことから、シーズ（技術）とニーズ（現場）がマッチングできていない。</li> <li>・先端技術を持つ企業や研究機関等と、現場を担う林業経営体等との間で、シーズとニーズの情報共有を促進していく必要がある。</li> </ul>  |                        |       |  |      |      |      |  |  |  |  |
| <b>【これまでの取組】</b>  |                        |       |  |      |      |      |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・先端技術企業や研究機関と、林業経営体などがシーズとニーズの情報を共有する場である「ふじのくに林業イノベーションフォーラム」を設立した。</li> <li>・HPやSNSによる情報の共有に加え、先端技術展示会（新型コロナの影響によりWEB開催）による現場への普及を進めた。</li> </ul>  |                        |       |  |      |      |      |  |  |  |  |
| <b>【今後の取組】</b>  |                        |       |  |      |      |      |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きHPやSNSなどのWEB媒体に加え、展示会やデモンストレーション等の実際に触れる機会を創出し、先端技術に関する情報共有を進める。</li> <li>・フォーラムを核に先端技術企業と林業経営体のマッチングを進め、先端技術の実装に向けた現場実証等の取組を支援する。</li> </ul>   |                        |       |  |      |      |      |  |  |  |  |
| <b>【工程表】</b>  |                        |       |  |      |      |      |  |  |  |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     フォーラム設立<br/>                     情報共有や普及を促進                 </div> </td> </tr> </tbody> </table> |                        |       | 2018   | 2019 | 2020 | 2021 |  |  |  | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     フォーラム設立<br/>                     情報共有や普及を促進                 </div> |
| 2018  | 2019                   | 2020  | 2021   |      |      |      |  |  |  |  |
|   |                        |       | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     フォーラム設立<br/>                     情報共有や普及を促進                 </div> |      |      |      |  |  |  |  |

【参考】



こんな悩みありませんか？



・施業効率化のための  
新技術を知りたい  
・色々な新技術を一覧  
で見たい

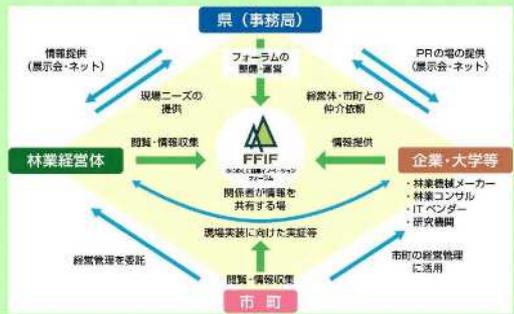
・新技術を開発したので  
PRしたい  
・林業の現場と連携したい  
けど伝手が無い



ふじのくに林業  
イノベーションフォーラム

産学官の多様な主体が参加し、先端技術に関する情報と現場のニーズを共有し、先端技術の普及と現場実装に取り組むことを目的としています。

**参加者**  
林業経営体・森林所有者・先端技術企業・研究機関・市町等行政機関 等



フォーラム参加のメリット

- ・専用HP・SNSで会員の新技术や新商品、実証の取組等を情報発信します
- ・県が開催する展示会や講演会等を御案内します
- ・技術と現場のマッチングをサポートします



HP, SNSでの情報発信

展示会・講演会への参加

参加申し込み

ふじのくに林業イノベーションフォーラムHP内の「フォーラム参加申し込み」ページの会員規約を御確認いただき、同ページ内の参加申込書に必要事項を記入の上静岡県森林計画課までメールにてご提出ください。

ふじのくに林業  
イノベーション

検索



【事務局】  
静岡県経済産業部森林・林業局 森林計画課  
TEL: 054-221-2613  
mail:shinrinkeikaku@pref.shizuoka.lg.jp



## 6 富をつくる産業の展開

| No.  | 施策名  | 担当部局名 |      |      |
|--|--|-------|------|------|
| 66   | 3次元点群データの利活用促進<br>(仮称) Virtual Shizuoka 構想 | 交通基盤部 |      |      |
| <b>【現状】</b>  |  |       |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県のICT活用工事で取得した3次元点群データのほか、東部・伊豆地域では航空レーザ測量による3次元点群データ取得の取組を推進している。</li> <li>・収集した点群データを保管し、オープンデータとしてダウンロードできる仕組み（3次元点群データ保管管理システム）を2017年度に構築済み。</li> </ul>  |  |       |      |      |
| <b>【課題・目的等】</b>  |  |       |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県のデータのみでなく、市町や民間が保有するデータの蓄積が必要である。</li> </ul>  |  |       |      |      |
| <b>【これまでの取組】</b>   |  |       |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・東部・伊豆地域 A=1,750km<sup>2</sup> の3次元点群データを取得、オープンデータ化</li> <li>・東京急行電鉄株式会社（東急電鉄）と3次元点群データの利活用に関する連携協議（H31年4月に協定を締結）</li> <li>・国土交通省のスマートシティモデル事業にエントリー（H31年5月に先行モデルプロジェクトとして選定）</li> <li>・グッドデザイン賞2020を受賞（R2年10月）</li> </ul> |  |       |      |      |
| <b>【今後の取組】</b>   |  |       |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生推進交付金を活用し、3次元点群データを活用した新たな取組を推進する。（例：観光VR、津波浸水想定での3次元化等）</li> <li>・令和3年度は、中西部地域を取得し、県内全域でデータ取得が完了する予定。</li> </ul>  |  |       |      |      |
| <b>【工程表】</b>   |  |       |      |      |
|  | 2018                                       | 2019  | 2020 | 2021 |
|  | 県データの取得・市町データの収集                           |       |      |      |
|  | 保管管理システムの拡充・他システムとの連携の実現                   |       |      |      |

【参考】

○ 仮想3次元静岡県構想 (VIRTUAL SHIZUOKA)



## 6 富をつくる産業の展開

| No.  | 施 策 名               | 担当部局名 |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
|--|---------------------|-------|------|------|------|------|------|------|---------------|--|--|--|--|-------------------|--|--|--|--|
| 67   | 建設現場における I C T 活用推進 | 交通基盤部 |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
| <b>【現状】</b>  |                     |       |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業における測量や工事施工管理の効率化が可能となるドローンやレーザースキャナーを活用する場合や、熟練技能者でなくても短時間で高精度な施工が可能となる I C T 建設機械を活用する場合の制度や基準を整備している。</li> </ul>  |                     |       |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
| <b>【課題・目的等】</b>  |                     |       |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I C T 活用のための資機材や人材を有する企業が限られており、 I C T 活用の普及拡大が必要である。</li> </ul>  |                     |       |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
| <b>【これまでの取組】</b>   |                     |       |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I C T を導入した建設企業（県発注工事受注企業）の数が、2016 年度は 12 社であったものが、2020 年度までに 179 社に増加</li> <li>・活用効果の周知とともに、新たに普及啓発制度を導入した。</li> </ul>   |                     |       |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
| <b>【今後の取組】</b>   |                     |       |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き国の施策や建設業者等と連携し、取組を推進する。</li> <li>・建設産業のイメージである 3 K（きつい、汚い、危険）の解消を図り、若者や女性に魅力のある業種に転換を図り、新 4 K（給料、休暇、希望、きれい）を実現し、担い手の確保を目指す。</li> </ul>   |                     |       |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
| <b>【工程表】</b>   |                     |       |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I C T 活用工事の実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普及支援（見学会、セミナーの開催）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> |                     |       |      |      | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | I C T 活用工事の実施 |  |  |  |  | 普及支援（見学会、セミナーの開催） |  |  |  |  |
|  | 2018                | 2019  | 2020 | 2021 |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
| I C T 活用工事の実施  |                     |       |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |
| 普及支援（見学会、セミナーの開催）  |                     |       |      |      |      |      |      |      |               |  |  |  |  |                   |  |  |  |  |

【参考】

○ 建設現場におけるICTの全面的活用

**①ドローン等による3次元測量**



ドローン等による写真測量等により、短時間で面的（高密度）な3次元測量を実施。

**② 3次元測量データによる設計・施工計画**



3次元測量データ（現況地形）と設計図面との差分から、施工量（切り土、盛り土量）を自動算出。

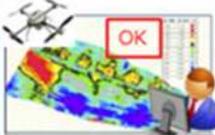
**③ICT建設機械による施工**



3次元設計データ等により、ICT建設機械を自動制御し、建設現場のIoT（※）を実施。

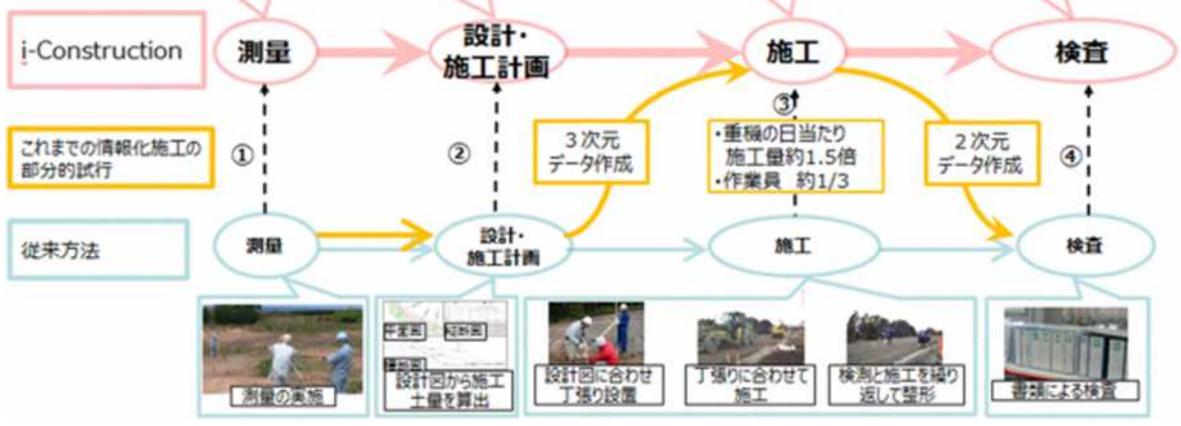
※IoT（Internet of Things）とは、様々なモノにセンサーなどを付され、ネットワークにつながる状態のこと。

**④検査の省力化**



ドローン等による3次元測量を活用した検査等により、出来形の書類が不要となり、検査項目が半減。

発注者



## 7 多彩なライフスタイルの提案

| No.  | 施策名             | 担当部局名     |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
|--|-----------------|-----------|------|------|------|------|----------------------------------|--|--|--|--|--|-----------|--|--|--|----------|--|
| 68   | 移住・定住の促進に係る情報発信 | くらし・環境部   |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
| <b>【現状】</b>  |                 |           |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県への移住の促進に向けて、「ゆとりすと静岡」※及び「だもんで静岡県」※の2つのホームページで情報発信に取り組んでいる。</li> <li>・移住関連イベントや市町が行う相談会や体験ツアーなど、最新の情報を発信できるよう、随時、情報更新を行っている。</li> </ul> <p>※ ゆとりすと静岡：地方移住に関心を持ち、静岡県を候補地と考えている人をターゲットに、地域や市町を絞り込むために必要な情報を網羅的に発信</p> <p>※ だもんで静岡県：より自分らしい生き方、働き方を模索する人ターゲットに、静岡県で実現可能なライフスタイルや魅力的に暮らす人の姿等、地方移住への関心を高め、静岡県に引き込むための情報を発信</p> |                 |           |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
| <b>【課題・目的等】</b>  |                 |           |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住検討者の求める情報をわかりやすく提供し、本県移住後の生活を具体的にイメージしてもらえるよう、情報発信する必要がある。</li> </ul>  |                 |           |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
| <b>【これまでの取組】</b>   |                 |           |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆとりすと静岡」では、移住の検討段階に応じた情報提供(暮らし、仕事、住まいなど)をするほか、相談会やセミナーなどのイベント情報を紹介してきた。</li> <li>・「だもんで静岡県」では、若年層が憧れるライフスタイルの実践者や、地域イノベーター、起業家等の静岡県で夢を叶えた方等のインタビューを掲載してきた。</li> <li>・コロナ禍をうけて、県や市町のオンライン相談体制やオンラインイベント等が充実してきたことから、ホームページ「ゆとりすと静岡」に「オンライン移住相談センター」のページを新設したほか、全県規模のオンライン移住相談会を開催した。</li> </ul>                            |                 |           |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
| <b>【今後の取組】</b>   |                 |           |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において移住検討者も多様化していることから、SNSを活用し属性や関心分野など、ターゲットに合わせた情報発信を強化していく。</li> <li>・令和3年度中に2つのホームページを統合する改修を進め、令和4年度からは、移住に役立つ情報を「ゆとりすと静岡」に集約して発信する。</li> </ul>  |                 |           |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
| <b>【工程表】</b>   |                 |           |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">ターゲットを明確にした情報発信（ゆとりすと静岡・だもんで静岡県）</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">ゆとりすと静岡改修</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">SNSで情報発信</td> </tr> </tbody> </table>                                   |                 |           | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | ターゲットを明確にした情報発信（ゆとりすと静岡・だもんで静岡県） |  |  |  |  |  | ゆとりすと静岡改修 |  |  |  | SNSで情報発信 |  |
| 2018   | 2019            | 2020      | 2021 |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
| ターゲットを明確にした情報発信（ゆとりすと静岡・だもんで静岡県）   |                 |           |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
|  |                 | ゆとりすと静岡改修 |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |
|  |                 | SNSで情報発信  |      |      |      |      |                                  |  |  |  |  |  |           |  |  |  |          |  |

【参考】



【移住・定住情報サイト「ゆとりすと静岡」】



全県規模のオンライン移住相談会  
【静岡まるごと移住フェア】特設サイト

## 7 多彩なライフスタイルの提案

| No.  | 施策名   | 担当部局名   |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
|--|---|---------|------|------|-------------|---|-----------|--|-------------|-----------------------|------------|------------------------------|-------------|-----------------------------|----------|----------------------------|
| 69   | スマホアプリを活用した地球温暖化防止の県民運動                                   | くらし・環境部 |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| <b>【現状】</b>  |   |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の自主的・継続的な地球温暖化防止の行動を促進するため、温暖化防止に係る行動（クールアクション）をした県民に対して抽選で景品が当たるポイントを付与するアプリ「クルポ」の運営を行っている。</li> </ul> <p>※ 実施主体：ふじのくにCOOLチャレンジ実行委員会<br/>         県内企業・団体・県・市町・県地球温暖化防止活動推進センターで構成。各主体の連携により、家庭・学校・オフィス等の場において温暖化防止の行動を促進する「県民運動ふじのくにCOOLチャレンジ」を展開。</p>   |   |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| <b>【課題・目的等】</b>  |   |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・温室効果ガス排出量の削減が不十分な家庭部門について、県民の直接的な行動を促進することにより、効果的に温室効果ガスを削減する必要がある。</li> <li>・より多くの県民に、継続的にアプリを使用してもらい、実効性を高める。</li> </ul>   |   |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| <b>【これまでの取組】</b>   |   |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年6月から温暖化防止アプリ「クルポ」の運営を開始。</li> <li>・実績（令和3年3月末時点）</li> <li>◆参加者：11,728人 ◆アクション回数：289,340回（H30.6～累計）、159,518回（R2）</li> <li>・主なアクションメニュー</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クール/ウォームシェア</td> <td>県市町公共施設（図書館、博物館等）やふじのくに魅力ある個店において、家庭の空調利用を節減するクール/ウォームシェア</td> </tr> <tr> <td>飲食店での食べきり</td> <td>飲食店等で食事を食べきり食品ロスを削減する食べきり</td> </tr> <tr> <td>リサイクルBOXの利用</td> <td>店舗、公共施設等の分別場所で適切なおみ分別</td> </tr> <tr> <td>環境イベントへの参加</td> <td>県市町等が主催する環境イベントや、森づくりイベントに参加</td> </tr> <tr> <td>公共交通機関の利用促進</td> <td>マイカーの利用を低減し、公共交通機関を利用（一部市町）</td> </tr> <tr> <td>再配達防止の取組</td> <td>郵便局の宅配ロッカー「はこぼす」を利用し再配達を防止</td> </tr> </tbody> </table> |   |         | 区分   | 内容   | クール/ウォームシェア | 県市町公共施設（図書館、博物館等）やふじのくに魅力ある個店において、家庭の空調利用を節減するクール/ウォームシェア | 飲食店での食べきり | 飲食店等で食事を食べきり食品ロスを削減する食べきり  | リサイクルBOXの利用 | 店舗、公共施設等の分別場所で適切なおみ分別 | 環境イベントへの参加 | 県市町等が主催する環境イベントや、森づくりイベントに参加 | 公共交通機関の利用促進 | マイカーの利用を低減し、公共交通機関を利用（一部市町） | 再配達防止の取組 | 郵便局の宅配ロッカー「はこぼす」を利用し再配達を防止 |
| 区分   | 内容  |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| クール/ウォームシェア  | 県市町公共施設（図書館、博物館等）やふじのくに魅力ある個店において、家庭の空調利用を節減するクール/ウォームシェア |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| 飲食店での食べきり  | 飲食店等で食事を食べきり食品ロスを削減する食べきり                                 |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| リサイクルBOXの利用  | 店舗、公共施設等の分別場所で適切なおみ分別                                     |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| 環境イベントへの参加   | 県市町等が主催する環境イベントや、森づくりイベントに参加                              |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| 公共交通機関の利用促進  | マイカーの利用を低減し、公共交通機関を利用（一部市町）                               |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| 再配達防止の取組   | 郵便局の宅配ロッカー「はこぼす」を利用し再配達を防止                                |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| <b>【今後の取組】</b>   |   |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会委員や各部局等と連携して広報やアクションメニューの拡充等に取り組むことで、参加者の増加と、継続的な利用によるアクション回数増加を図る。</li> </ul>  |   |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| <b>【工程表】</b>   |   |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> <span style="margin-right: 10px;">実行委員会委員等と連携した広報展開・アクションメニュー拡充</span> </div> </td> </tr> </tbody> </table>  |   |         |      | 2018 | 2019        | 2020  | 2021      | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> <span style="margin-right: 10px;">実行委員会委員等と連携した広報展開・アクションメニュー拡充</span> </div> |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| 2018   | 2019  | 2020    | 2021 |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> <span style="margin-right: 10px;">実行委員会委員等と連携した広報展開・アクションメニュー拡充</span> </div>   |   |         |      |      |             |   |           |  |             |                       |            |                              |             |                             |          |                            |

## 8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

| No.  | 施策名          | 担当部局名  |
|--|--------------|--------|
| 70   | ソーシャルメディアの活用 | 知事直轄組織 |
| <b>【現状】</b>  |              |        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスブックページ「静岡未来」で県政情報を発信している。(2012年10月～)</li> <li>・フェイスブックページ「いいねがあるある静岡県。」(観光政策課、観光振興課との共同運営)で県内観光地や県の特産物などの本県の魅力を県内外に発信している。(2014年6月～)</li> <li>・ツイッター「静岡県庁わかものがかり」を2018年2月に開設。県内大学生を中心とした若年層に「楽しい」「参考になる」県の情報を発信している。</li> <li>・LINE公式アカウント「静岡県」の運用を2020年6月から開始した。登録者の興味関心に合わせてプッシュ型で県政情報を配信している。また、メニュー欄から県ホームページへワンクリックで誘導している。</li> <li>・インスタグラムアカウント「ふじっぴー【公式】《静岡県イメージキャラクター》」を2020年10月に開設。ふじっぴーを活用し、県の魅力や情報を発信している。</li> </ul> |              |        |
| <b>【課題・目的等】</b>  |              |        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存SNSアカウントの定期読者の維持・増加を図る。</li> <li>・情報の発信内容に適したメディアを活用する。</li> </ul>   |              |        |
| <b>【これまでの取組】</b>   |              |        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・各SNSを適宜更新した。</li> <li>・「静岡未来」定期閲覧者数：3,652人(2021年3月末)</li> <li>・「いいねがあるある静岡県。」定期閲覧者数：15,399人(2021年3月末)</li> <li>・「静岡県庁わかものがかり」定期閲覧者数：12,353人(2021年3月末)</li> <li>・「静岡県」定期閲覧者数：37,993人(2021年3月末)</li> <li>・「ふじっぴー【公式】《静岡県イメージキャラクター》」定期閲覧者数：600人(2021年3月末)</li> <li>・広報実務担当者に向けて、SNSの基礎知識と活用ポイントに関する研修を実施。</li> </ul>   |              |        |
| <b>【今後の取組】</b>   |              |        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のSNSではコメントへの返信や、話題性がある情報を発信して、定期閲覧者との関係構築に努める。</li> <li>・広報研修で、具体的な活用事例を紹介し、県職員のSNS運営の技能・知識の向上を図る。</li> </ul>  |              |        |

**【工程表】**

| 2018                  | 2019 | 2020 | 2021 |
|-----------------------|------|------|------|
| 既存SNSの運用（適宜運用）        |      |      |      |
| 発信内容に合ったメディアの活用（適宜運用） |      |      |      |

## 8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

| No.   | 施策名                           | 担当部局名  |                             |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
|---|-------------------------------|--------|-----------------------------|------|------|------|------|--------------------------|--|--|-----------------------------|---------------------|--|--|--|
| 71  | ふじのくにネットテレビ等によるネットコンテンツの作成・活用 | 知事直轄組織 |                             |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
| <b>【現状】</b>   |                               |        |                             |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじのくにネットテレビ及び民間動画サイトYouTube（ユーチューブ）で、知事記者会見や県政ニュース、職員による業務紹介などの動画を配信している。</li> <li>・本県の様々な魅力を全国に発信するウェブサイト「ふじのくに魅力発信サイト 痛快！静岡県」を運営している。サイト内では、各部局が運営する、全国向けのホームページ（観光、移住定住、食、富士山等）を紹介している。また「静岡時代」や「すろーかる」「womo」「静岡新聞びぶれ」等の県内雑誌メディアと連携し、各メディアの新作記事のリンクを掲載している。ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、県を跨いでの移動が制限されているため、コラム欄を除き、ホームページの更新を中止した。</li> </ul> |                               |        |                             |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
| <b>【課題・目的等】</b>   |                               |        |                             |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の関心分野に合わせたコンテンツを作成する。</li> <li>・閲覧者の増加を図る。</li> </ul>  |                               |        |                             |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
| <b>【これまでの取組】</b>  |                               |        |                             |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
| <p>適宜配信、ページ更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじのくにネットテレビアクセス数：247,081回(2020年度)</li> <li>・YouTube視聴回数：3,208,824回(2020年度)</li> <li>・知事記者会見配信回数：44回(2020年度)</li> <li>・県政ニュース配信本数：10本(2020年度)</li> <li>・「痛快！静岡県」アクセス数：181,823PV（2020年度）</li> </ul>  |                               |        |                             |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
| <b>【今後の取組】</b>  |                               |        |                             |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじのくにネットテレビは、動画の配信や視聴が簡単にできるような環境を整備するため、サイトを改修し「ふじのくにメディアチャンネル」としてリニューアルして内容の充実を図る。</li> <li>・「痛快！静岡県」は、コンテンツの充実を図り、またサイトへの流入経路を拡大する。</li> </ul>   |                               |        |                             |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
| <b>【工程表】</b>  |                               |        |                             |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">「ふじのくにネットテレビ」運営（適宜内容充実化）</td> <td>「ふじのくにメディアチャンネル」運営（適宜内容充実化）</td> </tr> <tr> <td colspan="4">「痛快！静岡県」運営（適宜内容充実化）</td> </tr> </tbody> </table>  |                               |        |                             | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 「ふじのくにネットテレビ」運営（適宜内容充実化） |  |  | 「ふじのくにメディアチャンネル」運営（適宜内容充実化） | 「痛快！静岡県」運営（適宜内容充実化） |  |  |  |
| 2018  | 2019                          | 2020   | 2021                        |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
| 「ふじのくにネットテレビ」運営（適宜内容充実化）  |                               |        | 「ふじのくにメディアチャンネル」運営（適宜内容充実化） |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |
| 「痛快！静岡県」運営（適宜内容充実化）   |                               |        |                             |      |      |      |      |                          |  |  |                             |                     |  |  |  |

## 8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

| No.  | 施策名               | 担当部局名  |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
|--|-------------------|--------|------|------|------|------|------------------------------------|--|--|--|-------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 72   | 県政インターネットモニター等の実施 | 知事直轄組織 |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
| <b>【現状】</b>  |                   |        |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・即時性のあるインターネットを活用したアンケート調査（県政インターネットモニターアンケート調査）の実施により、県民の意向の速やかな入手に努め、迅速に県政に反映する。</li> <li>・県政に対する県民からの意見を県ホームページや電子メールなど多様な手段により入手することで、県民の意向の速やかな県政への反映を目指している。電話や手紙等に加え、県ホームページの意見投稿フォームや県民のこえ専用の電子メールを設けるなど、県民のこえを受け付ける多様な手段を用意している。</li> </ul>                    |                   |        |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
| <b>【課題・目的等】</b>  |                   |        |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査方法や新たな広聴媒体の検討</li> </ul>   |                   |        |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
| <b>【これまでの取組】</b>   |                   |        |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・県政インターネットモニター調査<br/>モニター人数：610人 アンケート実施回数：16回（2020年度）</li> <li>・広聴事案の受付<br/>一般広聴事案件数：5,522件（2020年度）<br/>うちICTによるもの：4,132件（ホームページ：3,695件、メール：437件）</li> </ul>   |                   |        |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
| <b>【今後の取組】</b>   |                   |        |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査実施における募集手段や意見聴取の方法、公表の方法等について随時検討する。</li> <li>・県民のこえを受け付ける手段について、新しいメディアの動向を研究する。</li> </ul>  |                   |        |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
| <b>【工程表】</b>   |                   |        |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">県政インターネットモニターアンケート実施（毎年度実施・適宜方法検討）</td> </tr> <tr> <td colspan="4">一般広聴受付（適宜実施・新規メディア活用研究）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> |                   |        | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 県政インターネットモニターアンケート実施（毎年度実施・適宜方法検討） |  |  |  | 一般広聴受付（適宜実施・新規メディア活用研究） |  |  |  |  |  |  |  |
| 2018   | 2019              | 2020   | 2021 |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
| 県政インターネットモニターアンケート実施（毎年度実施・適宜方法検討）   |                   |        |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
| 一般広聴受付（適宜実施・新規メディア活用研究）  |                   |        |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |
|  |                   |        |      |      |      |      |                                    |  |  |  |                         |  |  |  |  |  |  |  |

## 8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

| No.   | 施策名             | 担当部局名  |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
|---|-----------------|--------|------|------|------|------|---------------------|--|--|--|----------------------|--|--|--|
| 73  | 県公式ホームページでの情報提供 | 知事直轄組織 |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
| <b>【現状】</b>   |                 |        |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県公式ホームページで、基礎的な県政情報や本県の魅力情報を県内外に発信している。</li> <li>・ 例年、ウェブアクセシビリティに関する J I S 規格に基づく試験を実施している。</li> <li>・ 県公式ホームページのシステム・デザイン等が利用しやすくなるよう、適宜、仕様やデザインを修正・改善している。</li> </ul>                         |                 |        |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
| <b>【課題・目的等】</b>   |                 |        |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクセシビリティに配慮した分かりやすい情報発信を行う。</li> </ul>   |                 |        |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
| <b>【これまでの取組】</b>  |                 |        |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県政情報やイベントの開催情報を県公式ホームページで適宜更新した。</li> <li>・ ウェブアクセシビリティに関する J I S 規格に基づく試験を実施した。</li> </ul>  |                 |        |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
| <b>【今後の取組】</b>  |                 |        |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ全体のアクセシビリティの向上を目指し、ウェブアクセシビリティに関する J I S 規格に基づく試験を継続する。</li> <li>・ ホームページ全体が使いやすいものとなるよう、ハード面を所管する電子県庁課と協議しながら、適宜、修正・改善する。</li> </ul>  |                 |        |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
| <b>【工程表】</b>  |                 |        |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">アクセシビリティ試験の実施（毎年1回）</td> </tr> <tr> <td colspan="4">ページの仕様・デザインの改善（適宜実施）</td> </tr> </tbody> </table> |                 |        | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | アクセシビリティ試験の実施（毎年1回） |  |  |  | ページの仕様・デザインの改善（適宜実施） |  |  |  |
| 2018  | 2019            | 2020   | 2021 |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
| アクセシビリティ試験の実施（毎年1回）   |                 |        |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |
| ページの仕様・デザインの改善（適宜実施）  |                 |        |      |      |      |      |                     |  |  |  |                      |  |  |  |

## 8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

| No.   | 施策名                      | 担当部局名  |      |      |
|---|--------------------------|--------|------|------|
| 74  | 県ホームページの改善               | 知事直轄組織 |      |      |
| <b>【現状】</b>   |                          |        |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ウェブアクセシビリティ方針」を策定しユニバーサルデザイン※に配慮したホームページの作成など、効果的で分かりやすい情報提供を進めている。</li> <li>・県ホームページは、デザインや機能に統一性を持たせるとともに、音声読み上げソフトへの対応を図るなど、高齢者や障害者の方にも利用しやすいサイトになっており、アクセシビリティへの配慮に努めている。</li> <li>・ホームページ担当者を対象に、ウェブアクセシビリティについて、研修を行っている。(年1回)</li> <li>・主要なページについては、J I S規格(日本産業規格)のAAに準拠していることを証明する「ウェブアクセシビリティ試験」を実施し、結果を公表している。</li> </ul> <p>※ユニバーサルデザイン：身体や年齢、性別、国籍などの差異に関わらず、誰もが等しく利用できるようにすること</p> |                          |        |      |      |
| <b>【課題・目的等】</b>   |                          |        |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ウェブアクセシビリティ」に関して周知不足の面があることから、より一層の周知・啓発を図る必要がある。</li> </ul>   |                          |        |      |      |
| <b>【これまでの取組】</b>  |                          |        |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は90ページを対象に試験を実施し、すべてのページで適合レベルAAに準拠することができた。</li> <li>・令和元年度は109ページを対象に試験を実施し、すべてのページで適合レベルAAに準拠することができた。</li> <li>・平成30年度は96ページを対象に試験を実施し、すべてのページで適合レベルAAに準拠することができた。</li> </ul>  |                          |        |      |      |
| <b>【今後の取組】</b>  |                          |        |      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象ページのウェブアクセシビリティ試験終了後も、AA準拠の状態を保てるように定期的にチェックを行う。</li> <li>・毎年行う試験の結果を公表し、県民や職員へウェブアクセシビリティについて周知徹底を図る。</li> </ul>   |                          |        |      |      |
| <b>【工程表】</b>  |                          |        |      |      |
|   | 2018                     | 2019   | 2020 | 2021 |
|   | アクセシビリティ試験の実施            |        |      |      |
|   | 試験対象の全てのページでJ I S規格準拠を維持 |        |      |      |

## 8 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

| No.  | 施策名                | 担当部局名   |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
|--|--------------------|---|------|------|------|------|--|--|---|--|--|--|---|--|
| 75   | 文化施設等のデジタル化・安全安心対策 | スポーツ・文化観光部  |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
| <b>【現状】</b>  |                    |   |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により令和2年4～5月に県有文化施設の臨時休館を実施した。その後、赤外線カメラによる体温確認や手指消毒、展覧会の入場制限などの新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で開館している。</li> <li>・ 県立美術館の企画展では、入場制限によって入場待ちが多数生じることがある。</li> </ul>   |                    |   |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
| <b>【課題・目的等】</b>  |                    |   |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各施設では、ガイドラインに沿った新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、開館しているが、鑑賞におけるデジタル手続きを早急に導入し、より安全安心な鑑賞環境づくりを進める必要がある。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、県民が文化芸術に触れる機会が失われたため、Web上で文化資源に触れられるコンテンツを充実させることで、機会回復を図るほか、文化施設への来館を促進していく。</li> </ul>  |                    |   |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
| <b>【これまでの取組】</b>   |                    |   |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨時休館を終えた後は、入館時の赤外線カメラによる体温確認や手指消毒の実施などの新型コロナウイルス感染症対策をした上で開館している。</li> <li>・ 特に来館者が多く訪れる県立美術館の企画展においては、整理券の配布による入場制限を実施して、会場内の密を避けている。</li> </ul>   |                    |   |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
| <b>【今後の取組】</b>   |                    |   |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各施設において、収蔵品などを活用したデジタルコンテンツをそれぞれ作成し、サイト閲覧を通じた来館促進や文化芸術に触れる機会の拡充につなげる。</li> <li>・ 各施設に事前予約システムを導入することで、来館者数をコントロールするとともに、鑑賞したい時間での鑑賞を保証することで来館者の満足度向上、団体予約管理の効率化を図る。</li> <li>・ ふじのくに地球環境史ミュージアムにスマホ式音声ガイドを導入し、説明するボランティアガイドや館内説明パネル付近の密集を避けた鑑賞方法を推進する。</li> <li>・ 各施設においてキャッシュレス決済を順次導入し、来館者の利便性向上や感染症対策としての現金手渡し機会減少、現金管理の簡素化を図る。</li> </ul>   |                    |   |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
| <b>【工程表】</b>   |                    |   |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     事前予約システム、音声ガイド等導入、デジタルコンテンツの拡充                 </div> </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 100px;">                     キャッシュレス決済の導入                 </div> </td> </tr> </tbody> </table> |                    |   | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 |  |  | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     事前予約システム、音声ガイド等導入、デジタルコンテンツの拡充                 </div> |  |  |  | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 100px;">                     キャッシュレス決済の導入                 </div> |  |
| 2018   | 2019               | 2020  | 2021 |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
|  |                    | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     事前予約システム、音声ガイド等導入、デジタルコンテンツの拡充                 </div>   |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |
|  |                    | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 100px;">                     キャッシュレス決済の導入                 </div> |      |      |      |      |  |  |   |  |  |  |   |  |

## 9 世界の人々との交流の拡大

| No.   | 施策名                    | 担当部局名      |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
|---|------------------------|------------|------|------|------|------|------------------------------|--|--|--|----------------|--|--|--|--|--|--|--|------------------|--|--|--|
| 76  | 外国人が無料で利用できるWi-Fi整備の促進 | スポーツ・文化観光部 |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| <b>【現状】</b>   |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人旅行者のニーズが高い無料Wi-Fi環境の整備を進めていくため、山梨県及び神奈川県との連携による産官民協働の推進体制となる「Fujisan Free Wi-Fiプロジェクト」を2013年に立ち上げ、通信事業者と連携し、観光施設や商業施設への無料Wi-Fiスポット設置を促進した結果、県内に4,303のスポットが設置された。</li> <li>観光地における回遊ルート上の通信環境の整備を加速させるため、国の補助制度と連動させながら、無料Wi-Fi環境の面的整備を進める市町等に対し県費助成を行っており、これまでに5地区を整備した。</li> </ul>                               |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| <b>【課題・目的等】</b>   |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>観光施設・宿泊施設への更なるWi-Fiスポットの設置を促進するほか、外国人観光客の利便性向上を図るため、Wi-Fi利用開始手続きの簡素化、統一化を進めていく必要がある。</li> </ul>  |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| <b>【これまでの取組】</b>  |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度も通信事業者と連携し、富士山の開山期間における無料Wi-Fiサービス提供事業として、五合目や山頂、全山小屋において無料でWi-Fiを利用できる環境を整備した。</li> </ul>   |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| <b>【今後の取組】</b>  |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>通信事業者と連携した啓発活動や、施設等への協力要請を行うなど、「Fujisan Free Wi-Fiプロジェクト」の取組の充実を図る。</li> <li>観光地域づくり整備事業の活用等によりWi-Fi環境の面的整備を進める。</li> </ul>  |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| <b>【工程表】</b>  |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">Wi-Fiスポット拡大に向けた観光施設等への働きかけなど</td> </tr> <tr> <td colspan="4">新制度に基づく市町等への助成</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> </td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">富士山開山期のWi-Fi環境整備</td> </tr> </tbody> </table> |                        |            | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | Wi-Fiスポット拡大に向けた観光施設等への働きかけなど |  |  |  | 新制度に基づく市町等への助成 |  |  |  |  |  |  |  | 富士山開山期のWi-Fi環境整備 |  |  |  |
| 2018  | 2019                   | 2020       | 2021 |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| Wi-Fiスポット拡大に向けた観光施設等への働きかけなど  |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| 新制度に基づく市町等への助成  |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
|   |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |
| 富士山開山期のWi-Fi環境整備  |                        |            |      |      |      |      |                              |  |  |  |                |  |  |  |  |  |  |  |                  |  |  |  |

## 9 世界の人々との交流の拡大

| No.   | 施策名                    | 担当部局名      |
|---|------------------------|------------|
| 77  | 観光デジタル情報プラットフォームの構築・運用 | スポーツ・文化観光部 |
| <b>【現状】</b>   |                        |            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光庁調査（※1）によると、訪日外国人の旅行形態における個人旅行の比率が83.1%（2019）となっており、個人旅行化が進展している。</li> <li>・静岡県立大学が実施したアンケート（※2）によると、本県訪問にあたり、観光情報をインターネットで入手したとの回答が73.9%であり、情報収集源はインターネットが主流となっている。</li> <li>・市町やDMO、観光事業者のウェブサイトは連携が図られていないため不便であり、県調査（※3）によると、滞在中の旅行情報収集について「大変満足」と答えた割合が25.8%（R1）と、他の満足度に比べて低くなっている。</li> </ul> <p>※1：「訪日外国人消費動向調査」<br/>           ※2：「ラグビーワールドカップの開催地である静岡県エコパスタジアムにて実施した外国人観光客向けアンケート結果」<br/>           ※3：「静岡県における観光の流動実態と満足度調査」</p> |                        |            |
| <b>【課題・目的等】</b>   |                        |            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人旅行者に情報が直接的に届くための情報発信方法を検討する必要がある。</li> <li>・地域の強みの整理やマーケティングに基づいたデータの分析・活用が不十分であるとともに、観光事業者以外の地域の巻き込みなどが欠けている。</li> <li>・以上の課題に対応するため、観光デジタル情報プラットフォームを構築・活用し、データの提供・有効活用を促し、地域全体の魅力向上を図る。</li> </ul>   |                        |            |
| <b>【これまでの取組】</b>  |                        |            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラットフォームに具備する機能の整理や県内の観光施設情報に関する調査（サイト数、掲載内容等）を実施した。</li> <li>・観光事業者の参画に向けて、当該取組の理解を促進するイメージ図を調製した。</li> <li>・令和2年度においてデータ利活用基盤を構築し、アプリの開発及びウェブサイト（ハローナビしずおか）の改修を行った。</li> <li>・浜名湖周辺において、顔認証決済実証事業を実施した（令和3年3月12日～29日）</li> </ul>  |                        |            |
| <b>【今後の取組】</b>  |                        |            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町、観光・宿泊・交通事業者、金融、大学等から構成する「観光デジタル情報プラットフォーム運営協議会（仮称）」を設立し、データの収集を行っていく。</li> <li>・令和3年度以降のデータサイエンティストを発掘する。</li> <li>・令和3年度も引き続き、顔認証技術を活用した実証事業を実施する。（実施エリア：浜名湖周辺）</li> </ul>  |                        |            |

【工程表】

| 2018 | 2019 | 2020                             | 2021  |
|------|------|----------------------------------|---|
|      |      | <p>データ利活用基盤や観光情報アプリ等の構築・運用保守</p> | <p>運営協議会の設立による観光データの収集</p> <p>データ利活用のためのデータ分析機関の発掘・登用</p> |

【参考】

＜観光デジタル情報プラットフォームのイメージ＞

